

# Oracle® iPlanet Web Proxy Server 4.0.15 リ リースノート

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle と Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

AMD、Opteron、AMD ロゴ、AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。Intel、Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は X/Open Company, Ltd. からライセンスされている登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

# 目次

---

<b>Oracle iPlanet Web Proxy Server 4.0.15</b> リリースノート .....	5
リリースノートの改訂履歴 .....	6
4.0.15 の諸機能および拡張機能 .....	6
4.0.15 で修正された問題 .....	7
4.0.15 用の製品パッチ .....	9
ハードウェアとソフトウェアの要件 .....	9
サポートされるプラットフォーム .....	9
システム仮想化のサポート .....	10
スワップ容量 .....	10
オペレーティングシステム用パッチ .....	10
サポートされているブラウザ .....	12
非推奨に関する情報 .....	12
サポートされているソフトウェア、テクノロジー、およびプロトコル .....	13
透過プロキシ .....	13
URL マッピング .....	13
サーバーの監視 .....	14
組み込み DNS の解決 .....	14
ACL キャッシュの調整 .....	15
キャッシュの PURGE 機能 .....	15
IPv6 (Internet Protocol Version 6) のサポート .....	16
NSS および NSPR のサポート .....	16
変更された FTP 転送モード .....	16
アップグレードのサポート .....	16
強化されたハードウェアアクセラレータ暗号化のサポート .....	16
2007 年の US DST の変更の影響 .....	17
製品マニュアル .....	17
4.0.14 のマニュアルに対する修正と更新 .....	18
ドキュメント、サポート、およびトレーニング .....	24

---

製品資料の検索 .....	24
サードパーティー Web サイトの参照 .....	25
既知の問題点 .....	25
管理 .....	25
キャッシュ .....	27
Installation .....	27
国際化 .....	28
Localization .....	29
SOCKS .....	30
マニュアル .....	30
Proxy Server 4.0 の以前のリリースでの諸機能および拡張機能 .....	30
4.0.14 の諸機能および拡張機能 .....	31
Proxy Server 4.0 の以前のリリースで解決済みの問題 .....	31
4.0.14 で修正された問題 .....	31
4.0.13 で修正された問題 .....	35
4.0.12 で修正された問題 .....	36
4.0.11 で修正された問題 .....	37
4.0.10 で修正された問題 .....	38
4.0.9 で修正された問題 .....	40
4.0.8 で修正された問題 .....	41
4.0.7 で修正された問題 .....	42
4.0.6 で修正された問題 .....	44
4.0.5 で修正された問題 .....	47
4.0.4 で修正された問題 .....	49
4.0.3 で修正された問題 .....	55
4.0.2 で修正された問題 .....	59
4.0.1 で修正された問題 .....	60

# Oracle iPlanet Web Proxy Server 4.0.15 リリースノート

---

この『リリースノート』ドキュメントには、Oracle iPlanet Web Proxy Server (Proxy Server) の 4.0.15 リリースに関する重要な情報が記載されています。これには、諸機能や拡張機能、解決済みのバグ、および既知の問題に関する情報が含まれています。Proxy Server のインストールおよび構成の前にこのリリースノートを確認し、その後も定期的に最新の情報を参照してください。

このリリースノートは、Proxy Server 4.0 の最新リリースの機能、拡張機能、および解決された問題をより重点的に説明し、最新リリースでサポートされているプラットフォーム、ソフトウェア、テクノロジー、およびプロトコルの情報をより明確に記述するように再編成されています。その他のドキュメントの変更点の詳細については、17 ページの「製品マニュアル」を参照してください。

このリリースノートには、次の内容が含まれています。

- 6 ページの「リリースノートの改訂履歴」
- 6 ページの「4.0.15 の諸機能および拡張機能」
- 7 ページの「4.0.15 で修正された問題」
- 9 ページの「4.0.15 用の製品パッチ」
- 9 ページの「ハードウェアとソフトウェアの要件」
- 13 ページの「サポートされているソフトウェア、テクノロジー、およびプロトコル」
- 17 ページの「製品マニュアル」
- 25 ページの「既知の問題点」
- 30 ページの「Proxy Server 4.0 の以前のリリースでの諸機能および拡張機能」
- 31 ページの「Proxy Server 4.0 の以前のリリースで解決済みの問題」

## リリースノートの改訂履歴

日付	説明
2010年9月	Proxy Server 4.0.15 リリースをサポートするように更新しました。
2010年6月	Proxy Server 4.0.14 リリース向けの初期発行

### 4.0.15 の諸機能および拡張機能

表 1 に示されている多数のバグの修正に加えて、iPlanet Web Proxy Server の 4.0.15 リリースは、顧客の要求に対処するための次のいくつかの拡張機能を提供します。

- 時間間隔を使用することで、特定のクライアントから受け取った要求についてディレクティブの実行を制限できるように、`<Client>` タグに日付/時刻パラメータが追加されました。詳細については、[19 ページの「<Client> タグの日付/時刻パラメータに関する情報」](#)を参照してください。
- 特定の JavaScript 変数で JavaScript 変数書き換えを抑制するための `disable-javascript-rewrite` パラメータが、`um-define-junction SAF` に追加されました。詳細については、[20 ページの「um-define-junction SAF の disable-javascript-rewrite パラメータに関する情報」](#)を参照してください。
- `obj.conf` へのほかのファイルのインクルードをサポートするための `<Include>` タグが、`obj.conf` ファイルの構文に追加されました。詳細については、[20 ページの「obj.conf ファイルの <Include> タグに関する情報」](#)を参照してください。
- IPv6、IPv4 のどちらのアドレスを先に検索するかを制御するための `lookup-ipv6-first` パラメータが、`dns-config SAF` に追加されました。詳細については、[21 ページの「dns-config SAF の lookup-ipv6-first パラメータに関する情報」](#)を参照してください。
- オフラインとしてマークされたゲートウェイの健全性を Proxy Server が検査する頻度を設定するための `RouteOfflineCheckInterval` ディレクティブが、`magnus.conf` ファイルに追加されました。詳細については、[22 ページの「magnus.conf ファイルの新しいディレクティブに関する情報」](#)を参照してください。
- `status-code` および `status-desc` パラメータが `send-error SAF` に追加されました。詳細については、[22 ページの「send-error SAF の status-code および status-desc パラメータに関する情報」](#)を参照してください。
- iPlanet Web Proxy Server でサポートされる NSS のバージョンが 3.12.6 に更新され、NSPR のバージョンが 4.8.4 に更新されました。
- 管理 GUI に「Enter ACL List Cache Size」フィールドが追加され、この値のインタラクティブな指定がサポートされました。

- Proxy Server を再起動しないで監視対象の値をリセットするための「Reset Status」ボタンが、管理 GUI の「Proxy-instance」⇒「Server Status」⇒「Monitor Current Activity」ページに追加されました。
- 次に示すマニュアルの問題に対処するために、18 ページの「4.0.14 のマニュアルに対する修正と更新」の節が更新されました。

問題ID	説明
6294290	Proxy 4: admin.conf に関するドキュメントがありません
6962675	Proxy 4 ドキュメント RFE - regexp-redirect 関数についての記述を WPS ドキュメント/マニュアルに多少追加する必要があります。
6965246	DOCS: WPS4.0.14 で、http-client-config 関数に新しいパラメータが導入されています
6968536	send-error に追加された新しいパラメータ (「status-desc」 および 「status-code」) のドキュメント化を行います
6968573	magnus.conf の新しいパラメータ 「RouteOfflineCheckInterval」 のドキュメント化を行います
6968574	<Client> タグに追加された新しいパラメータのドキュメント化を行います (バグ # 6942431)
6969302	obj.conf の新機能であるインクルードファイル機能のドキュメント化を行います (バグ # 6946566)

## 4.0.15 で修正された問題

次の表は、iPlanet Web Proxy Server 4.0.15 で修正された問題を一覧したものです。

表 1 iPlanet Web Proxy Server 4.0.15 で修正された問題

ID	概要
6524998	Proxy 4.0 の urldb ユーティリティが、無効な正規表現の処理時にクラッシュします
6942431	Proxy 4.0: <Client> タグに時間関連のパラメータを追加することを検討してください
6945755	Web Proxy Server で、ドキュメントの記載に従って CPU 数と等しい値にアクセプタスレッド数を設定することができません
6946517	WPS4.0: SSL で OPTIONS メソッドが機能しません
6946561	RFE: Web Proxy 4 - 管理 GUI 経由で ACLCacheMax を設定する機能
6946565	RFE - サーバーを再起動しないでパフォーマンスカウンタをリセットする機能が必要です

表1 iPlanet Web Proxy Server 4.0.15 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6946566	RFE - URL リストを別のファイルで管理するなど、個別のインクルードファイルを使って obj.conf を管理する機能
6949070	Proxy 4.0: urldb: 期限切れのキャッシュファイルが削除されません
6951418	Proxy 4.0: イベントスケジューラ: 時刻の「ズレ」によりイベントの失敗が発生します
6952442	Proxy 4 のキャッシュ管理プログラムが obj.conf の <Client> タグでクラッシュします
6955415	Proxy Server 4.0.13 - virt-map 関数に rewrite-host パラメータを追加する必要があります
6957675	Proxy 4 の管理 GUI で、ユーザーが NameTrans fn="regexp-redirect" (正規表現 URL リダイレクト) を編集した際に警告が表示されます
6957676	WPS4.0 の基本認証が、通常のマッピングのみでは機能しません
6960464	Proxy 4 - 負荷分散の健全性検査で、タイムアウトと実行頻度を設定できるようにする必要があります
6964554	Proxy 4 RFE - cu が DNS 検索の順序を選択できるようにするための新しい lookup-ipv6-first
6965840	フォワードプロキシ構成で、Service SAF のクエリーパラメータが機能しません
6965842	RFE: send-error で「status」パラメータを指定できるようにします
6965883	4.0.15 でのバージョン変更
6966757	WPS 4.0.14: 「/」スラッシュがない場合に URL 書き換え問題 (um-output) が発生します
6968929	NSS 3.12.6 を統合します
6970769	SOCKS ログメッセージに無効なセッション ID が含まれます
6970776	Proxy 4.0: SOCKS サーバーで意味のあるエラーログ情報が出力されるようにすべきです
6972347	Proxy 4.0: キャッシュ内の応答を切り詰めたものが、プロキシから提供されます
6974046	Web Proxy Server 4.0.14 (SVR4 パッチ) での DTD ファイル名の変更に関する問題
6974382	Proxy 4.0: 「URL マッピング」で JavaScript の書き換えを選択的に行えるようにすべきです
6974692	SOCKS プロキシのホスト名解決: ホスト名が未解決であるのに、クライアント上のポートへの接続のリターンが失敗しません
6977431	管理 GUI での Web プロキシサーバーのアクセプタスレッド数を、ドキュメントの記載に従って CPU 数と等しい値にすべきです

## 4.0.15 用の製品パッチ

バージョン 4.0.15 用の Proxy Server 4.0 パッチは [SunSolve Online \(http://sunsolve.sun.com\)](http://sunsolve.sun.com) で入手できます。次の表に、これらのパッチの一覧を示します。

プラットフォーム	パッチ ID
HP-UX	145608-01 ( <a href="http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-21-145608-01-1">http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-21-145608-01-1</a> )
Linux x86	145605-01 ( <a href="http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-21-145605-01-1">http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-21-145605-01-1</a> )
Solaris SPARC (32 ビット)	145604-01 ( <a href="http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-21-145604-01-1">http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-21-145604-01-1</a> )
Solaris x86 (32 ビット)	145606-01 ( <a href="http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-21-145606-01-1">http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-21-145606-01-1</a> )
Windows (32 ビット)	145607-01 ( <a href="http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-21-145607-01-1">http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-21-145607-01-1</a> )

## ハードウェアとソフトウェアの要件

ここでは、Proxy Server 4.0.15 のハードウェアとソフトウェアの要件に関する情報を提供します。

この節では、次の内容について説明します。

- 9 ページの「サポートされるプラットフォーム」
- 10 ページの「システム仮想化のサポート」
- 10 ページの「スワップ容量」
- 10 ページの「オペレーティングシステム用パッチ」
- 12 ページの「サポートされているブラウザ」
- 12 ページの「非推奨に関する情報」

## サポートされるプラットフォーム

Proxy Server 4.0.15 のサポートされるオペレーティング環境とハードウェアに関する完全な情報は、[Oracle Fusion Middleware のサポートされるシステム構成](#) ページでアクセス可能な Oracle iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 認定マトリックスで入手できます。

## システム仮想化のサポート

システム仮想化とは、複数のオペレーティングシステム (OS) インスタンスが共有ハードウェア上で独立して動作することを可能にするテクノロジーのことです。機能的には、仮想化環境内でホストされている OS に配備されたソフトウェアは通常、背後のプラットフォームが仮想化されていることに気づきません。Oracle では、適切に設定された適切なサイズの仮想化環境上で、仮想化されていないシステム上の場合と同様に製品が機能することを確認できるよう、選択したシステム仮想化と OS の組み合わせについて Oracle 製品のテストを実行しています。

仮想化環境での Oracle 製品に対する Oracle サポートの詳細については、「[Oracle Fusion ミドルウェアでサポートする仮想化テクノロジー](#)」を参照してください。

## スワップ容量

Oracle iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 認定マトリックスで提供されている情報に加えて、システムに十分なスワップ容量が存在することも必要です。

- Solaris では、少なくともシステムの RAM 容量と同じスワップ容量が必要です (RAM 容量の 2 倍を推奨)
- Linux では、256M バイトのスワップ容量が必要です。

## オペレーティングシステム用パッチ

適用可能な最新のパッチを使用して、オペレーティングシステムをアップデートすることをお勧めします。必要なパッチをプラットフォーム別に示します。

### Solaris のパッチ

Solaris SPARC および x86 では、Proxy Server 4.0.15 に次のパッチレベルが必要です。

#### Solaris 8 (SPARC)

- 108434-18 (C++ 用の共用ライブラリパッチ)

#### Solaris 9 (SPARC)

- 111711-12 (C++ 用の共用ライブラリパッチ)

#### Solaris 9 (x86)

- 111713-12 (C++ 用の共用ライブラリパッチ)

## Solaris 10 SPARC

不要

## Solaris 10 (x86)

- 119964-03 (C++ 用の共用ライブラリパッチ)
- 108434-18 (C++ 用の共用ライブラリパッチ)

## Linux のパッチ

Linux では、Proxy Server 4.0.15 に次のパッチレベルが必要です。

## Red Hat Enterprise Linux Advanced Server 3

- compat-libstdc++-7.3-2.96.128.rpm

## Red Hat Enterprise Linux Advanced Server 4

- compat-libstdc++-33-3.2.3-47.3.rpm compat-libstdc++-296-2.96-132.7.2.rpm

## HP-UX のパッチ

- B.11.11.0412-HP-UX 11i オペレーティング環境コンポーネント
- 11i に付属する必要なパッチ (2003 年 6 月) — B.11.11.0306.1
- B.11.11.0612.459-HP-UX 11i 用 Gold Base パッチ (2006 年 12 月)
- B.11.11.0612.459-HP-UX 11i 用 Gold Application パッチ (2006 年 12 月)
- PHCO\_29109-Pthread の拡張および修正
- PHCO\_27633-Pthread.h の修正および新しい拡張
- PHCO\_29328-libc man ページ累積パッチ
- PHCO\_29495-libc 累積パッチ
- JAVA00B, 1.0.00.02-Java Out-of-Box

Java Out-of-Box ツールは、必要なカーネル調整可能パラメータを構成するのに使用されます。カーネルの値を変更する場合には、このツールを使用することをお勧めします。必要に応じて、次に示す調整可能パラメータが右側の値以上になるように変更してください。

- nthreads— 3635
- maxfiles—60
- maxfiles\_lim—1024
- max\_thread\_proc—512
- maxswapchunks—2048
- nfile4—136
- ncallout—3651
- nproc—2068



注意-カーネル調整可能パラメータの変更は、システムに悪影響を及ぼす可能性があります。変更内容を完全に理解していない場合は変更しないでください。

---

## サポートされているブラウザ

Proxy Server 4.0.15 のサポートされる Web ブラウザに関する完全な情報は、[Oracle Fusion Middleware のサポートされるシステム構成](#) ページでアクセス可能な Oracle iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 認定マトリックスで入手できます。

## 非推奨に関する情報

オペレーティングシステムのバージョン。iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 のリリース時点では、次のオペレーティングシステムのバージョンは推奨されません。

HP-UX 11.11  
Microsoft Windows 2000 Server および Windows 2000 Advanced Server  
Red Hat Enterprise Linux Advanced Server 3  
Solaris 8  
Solaris 9 for SPARC および x86

これらのオペレーティングシステムのバージョンは、iPlanet Web Proxy Server の将来のリリースではサポートされなくなります。

**Web** ブラウザのバージョン。iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 のリリース時点では、次の Web ブラウザのバージョンは推奨されません。

Microsoft Internet Explorer 6  
Mozilla 1.4.1 および 1.7.2  
Netscape Navigator 7.1 および 7.2

これらの Web ブラウザのバージョンは、iPlanet Web Proxy Server の将来のリリースではサポートされなくなります。

# サポートされているソフトウェア、テクノロジー、およびプロトコル

Proxy Server の最近のリリースに含まれている拡張機能を、次に示します。:

## 透過プロキシ

Proxy Server 4.0 は、HTTP/1.1 接続の透過プロキシをサポートします。透過プロキシでは、クライアントの情報を取得したりクライアントを管理したりすることなしに、プロキシサーバーを使って Web 要求をインターセプトして処理します。たとえば、プロキシサーバーがアクティブになっているローカルポートに受信された TCP 接続をリダイレクトするように、ローカルネットワーク用のルーターを設定したりします。

obj.conf ファイルに含まれるプロキシサーバーの default オブジェクトに、次の指令を追加します。

```
NameTrans fn="host-map"
```

この設定を行うと、プロキシサーバーは、受信した要求の HTTP Host: ヘッダーを使って、ターゲットリモートサーバーの識別とそのサーバーへの要求のリダイレクトを行います。

---

注 - HTTP Host: ヘッダーに基づいて接続を判断する透過プロキシサーバーは、アクティブなコンテンツを通じて偽造された擬似的な HTTP Host: ヘッダーによる攻撃を受けやすくなります。したがって、悪意のあるコンテンツをホストしている可能性のある Web サイトへの接続を回避できるように、適切な ACL 設定を実装する必要があります。

---

## URL マッピング

URL マッピングが Proxy Server 4.0.8 で実装されており、これによって Proxy Server を逆プロキシとして動作させることができます。この機能によって、Proxy Server はバックエンドアプリケーションサーバー用の 1 つのフロントエンドホスト名として表示されます。要求元の URI に基づいて、バックエンドサーバーにアクセスできます。

URL マッピングの詳細については、『[Oracle iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 Configuration File Reference](#)』の「[Reverse Proxy Scenario](#)」を参照してください。

URL マッピングで使用されるサーバーアプリケーション機能 (SAF) については、『[Oracle iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 Configuration File Reference](#)』の「[Server Application Functions \(SAFs\)](#)」を参照してください。

## サーバーの監視

iPlanet Web Proxy Server の監視機能では、インスタンスレベルで監視可能なサーバーパラメータの詳細なリストが提供されます。

Web Proxy Administration Server では、次の操作を実行できます。

- インスタンスレベルでのサーバー統計情報の表示。
- インスタンスレベルでの有効化/無効化。

### ▼ サーバーの監視

- 1 管理サーバーへアクセスします。
- 2 「**Manage Servers**」 ページで「**Instance**」 リンクをクリックします。
- 3 「**Server Status**」 タブをクリックします。
- 4 「**Monitor Current Activity**」 タブをクリックします。
- 5 サーバーの監視を行うには、「**Monitor Current Activity**」を **Yes** に設定します。  
5 秒、10 秒、15 秒の間隔でサーバーを更新して、DNS、Keep-Alive、Cache、Server Requests、および Work Thread 接続の統計情報を表示することもできます。

## 組み込み DNS の解決

組み込み DNS では、デフォルト以外の名前解決をサポートしています。DNS クライアントが DNS サーバーと対話して名前解決を行います。新しい SAF dns-lookup では、DNS サーバーの IP アドレスをサーバーの引数として受信します。この IP アドレスは obj.conf ファイルに DNS ディレクティブとして追加するようにしてください。

次の例では、サーバーパラメータ内で DNS サーバーの IP が指定されています。

```
<object>
...
DNS fn="dns-lookup" server="170.168.10.3"
...
</object>
```

次の例では、複数の DNS サーバーの IP を dns-lookup-init に追加できます。これはラウンドロビンモデルで使用されます。このシナリオでは、DNS サーバーの IP を dns-lookup には追加しないでください。DNS サーバーのパラメータが dns-lookup と dns-lookup-init の両方に追加された場合は、dns-lookup の引数が優先されます。

```

...
<Object>
...
DNS fn="dns-lookup"
...
Init fn="dns-lookup-init" servers="170.168.10.3, 170.158.10.4"
</Object>

```

## ACL キャッシュの調整

ACLCacheMax は、ACL キャッシュ内に保存される ACL の総数の制限を設定する magnus.conf パラメータです。ACLCacheMax にはデフォルト値が存在しません。特定の制限値を設定するようにしてください。

たとえば、ACLCacheMax 16384 のように設定します。

---

注 - ここで説明している ACL キャッシュは ACL ユーザーキャッシュのことではありません。パフォーマンス上の理由でキャッシュされる特定の URL に ACL が対応している場合のキャッシュを指しています。

---

GCAStartup は magnus.conf パラメータで、プール値を使用できます。デフォルト値は false です。true に設定した場合、サーバーの起動時にキャッシュガベージコレクタがガベージをクリアします。キャッシュのサイズが大きい場合は、この処理によってサーバーの起動時間が長くなります。

## キャッシュの PURGE 機能

Proxy Server では PURGE 要求によって、キャッシュされた URL をクリアすることができます。要求された URL が正常に削除されると、サーバーから HTTP ステータスコード 200 (OK) を含む応答が送信されます。指定した URL がキャッシュされていない場合は、404 (Not Found) の応答が送信されます。

次の例では、サーバーは値 200 を返信しています。

```

bash-2.03$ telnet localhost 8088
Trying 172.9.10.1...
Connected to localhost.
Escape character is '^]'.
PURGE http://foo.com/ HTTP/1.0

HTTP/1.1 200 OK
Server: Oracle-iPlanet-Proxy-Server/4.0
Date: Fri, 26 Oct 2007 08:15:30 GMT
Connection: close

```

次の例では、サーバーは値 404 を返信しています。

```
Connection closed by foreign host.
bash-2.03$ telnet localhost 8088
Trying 172.9.10.1...
Connected to localhost.
Escape character is '^]'.
PURGE http://foo.com/ HTTP/1.0

HTTP/1.1 404 Not Found
Server: Oracle-iPlanet-Proxy-Server/4.0
Date: Mon, 17 Sep 2007 10:13:28 GMT
Content-length: 96
Content-type: text/html
Connection: close
```

## IPv6 (Internet Protocol Version 6) のサポート

Proxy Server 4.0.11 を経由して IPv6 対応の Web サイトに接続できます。Proxy Server は、デフォルト (受動) モードで IPv6 の ftp 拡張もサポートします。

## NSS および NSPR のサポート

Proxy Server 4.0.15 は、NSS (Network Security Services) 3.12.6 および NSPR (Netscape Portable Runtime) 4.8.4 をサポートしています。

## 変更された FTP 転送モード

Proxy Server 4.0.6 リリースから、拡張アドレス受動ポート (EPSV) モードがサポートされるようになりました。

## アップグレードのサポート

Proxy Server 4.0.2 リリースから、インストーラは、既存の Proxy Server 4.0 インストールから新しいバージョンへのアップグレードをサポートしています。Java Enterprise System の Proxy Server 4.0.1 をインストールしている場合は、新しいリリースに対応するパッチをインストールする必要があります。

## 強化されたハードウェアアクセラレータ暗号化のサポート

Proxy Server 4.0.12 は、Proxy Server 上の SSL のパフォーマンスを向上させる暗号化アクセラレータボードである、Sun Crypto Accelerator 6000 のハードウェアアクセラレータのサポートを提供しています。

## 2007 年の US DST の変更の影響

米国では、3月の第2日曜日にサマータイム (DST) が始まり、11月の第1日曜日に終了します。これは、オペレーティングシステムの日付と時刻の規則に影響を与えません。

ログファイルに US タイムゾーンの正しい時刻が記録されており、管理サーバーがこの変更の影響を受けていないことを確認するには、次のようにしてください。

- 適切なオペレーティングシステムのパッチをダウンロードしてインストールします。Solaris パッチは <http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-26-102775-1> からダウンロードできます。その他のプラットフォームの場合は、同様の DST 互換パッチをオペレーティングシステムのベンダーの Web サイトからダウンロードしてください。
- Solaris、Windows、および Linux プラットフォームの場合は、JRE 1.5.0\_12 を使用して Proxy Server を実行してください。HP-UX プラットフォームの場合は、JRE 1.5.0\_12 を使用して Proxy Server を実行してください。

## 製品マニュアル

iPlanet Web Proxy Server 4.0 のマニュアルは、次のいくつかの方法で提供されます。

- マニュアル - Proxy Server 4.0 のマニュアルおよびリリースノートは、HTML 形式および印刷可能な PDF 形式で参照できます。
- オンラインヘルプ - グラフィカルインタフェースの「ヘルプ」ボタンをクリックすると、関連した内容のヘルプウィンドウが開きます。

Proxy Server 4.0.14 が、Proxy Server 4.0 のドキュメントセットの全体が更新された最後のリリースとなります。4.0.14 リリースのあとで Proxy Server 4.0 のマニュアルに加えられた更新と修正は、このリリースノートに記載されています。[18 ページ](#)の「[4.0.14 のマニュアルに対する修正と更新](#)」を参照してください。

Proxy Server 4.0.14 のドキュメントセットは <http://docs.sun.com/coll/1311.14> で入手できます。Proxy Server への導入としては、次の表に示されている順序でマニュアルを参照してください。

表2 iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 のドキュメントセット

ドキュメントのタイトル	内容
『Release Notes』	Proxy Server のリリースに関する情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ソフトウェアおよびマニュアルについての最新情報</li> <li>■ 新機能</li> <li>■ サポートされるプラットフォームおよび環境</li> <li>■ システム要件</li> <li>■ 既知の問題と回避策</li> </ul>
『Installation and Migration Guide』	以下のインストールおよび移行作業の実行 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ iPlanet Web Proxy Server のインストール</li> <li>■ バージョン 3.6 からバージョン 4.0 への移行</li> </ul>
『管理ガイド』	次の管理作業の実行 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 管理およびコマンド行インタフェースの使用</li> <li>■ サーバー環境の設定</li> <li>■ ユーザーとグループの管理</li> <li>■ サーバーアクティビティの監視およびログ</li> <li>■ サーバー保護のための証明書および公開鍵暗号の使用</li> <li>■ サーバーアクセスの制御</li> <li>■ URL のプロキシ処理およびルーティング</li> <li>■ キャッシュ</li> <li>■ コンテンツのフィルタリング</li> <li>■ 逆プロキシの使用</li> <li>■ SOCKS の使用</li> </ul>
『構成ファイルリファレンス』	設定ファイルの編集
『NSAPI Developer's Guide』	カスタム NSAPI (Netscape Server Application Programming Interface) プラグインの作成
『Performance Tuning, Sizing, and Scaling Guide』	パフォーマンスを最適化するための iPlanet Web Proxy Server のチューニング

## 4.0.14 のマニュアルに対する修正と更新

次の節では、Proxy Server 4.0.14 のマニュアルに加えられた修正と更新について説明します。

- 19 ページの「admin.conf ファイルに関する情報」
- 19 ページの「<Client> タグの日付/時刻パラメータに関する情報」
- 20 ページの「um-define-junction SAF の disable-javascript-rewrite パラメータに関する情報」
- 20 ページの「http-client-config SAF の forward-unread-request-body パラメータに関する情報」

- 20 ページの「obj.conf ファイルの <Include> タグに関する情報」
- 21 ページの「dns-config SAF の lookup-ipv6-first パラメータに関する情報」
- 21 ページの「NameTrans ディレクティブの regexp-redirect 関数に関する情報」
- 22 ページの「send-error SAF の status-code および status-desc パラメータに関する情報」
- 22 ページの「magnus.conf ファイルの新しいディレクティブに関する情報」

## admin.conf ファイルに関する情報

`install-dir/proxyadmserv/config` ディレクトリに格納されている `admin.conf` ファイルは、Proxy Server が維持する内部用構成ファイルです。このファイルは変更しないでください。

## <Client> タグの日付/時刻パラメータに関する情報

Proxy Server 4.0.15 では <Client> タグの新しいパラメータがいくつかサポートされていますが、これらのパラメータの説明を次の表に示します。

パラメータ	説明
date-start および date-end	これら2つのパラメータは、時間間隔の開始日付と終了日付をそれぞれ指定します。これらは UNIX の <code>date</code> コマンドの書式の値を取りますが、タイムゾーンの指定は除外します。さらに、 <code>date</code> コマンドの書式の平日部分は省略可能です。
day-start および day-end	これら2つのパラメータは、1月の中の日間隔の開始日と終了日をそれぞれ指定します。これらは1から31までの範囲の値を取ります。
month-start および month-end	これら2つのパラメータは、1年の中の月間隔の開始月と終了月をそれぞれ指定します。これらは値 <code>Jan</code> 、 <code>Feb</code> 、 <code>Mar</code> 、 <code>Apr</code> 、 <code>May</code> 、 <code>Jun</code> 、 <code>Jul</code> 、 <code>Aug</code> 、 <code>Sep</code> 、 <code>Oct</code> 、 <code>Nov</code> 、および <code>Dec</code> を取ります。
time-start および time-end	これら2つのパラメータは、1日の中の時刻間隔の開始時刻と終了時刻をそれぞれ指定します。これらは、24時間形式の書式 <code>hour:minute:second</code> の値を取ります。
weekday-start および weekday-end	これら2つのパラメータは、1週間の中の日間隔の開始日と終了日をそれぞれ指定します。これらは値 <code>Sun</code> 、 <code>Mon</code> 、 <code>Tue</code> 、 <code>Wed</code> 、 <code>Thu</code> 、 <code>Fri</code> 、および <code>Sat</code> を取ります。

### 例

- 次の例は、毎週火曜日から金曜日までの、午前 9:00 から午後 5:00 までの時間間隔を指定したものです。

```
<Client weekday-start="Tue" weekday-end="Fri" time-start="09:00:00" time-end="17:00:00">
```

- 次の例は、毎月1日から15日までの、午前12:00から午前4:00までの時間間隔を指定したものです。

```
<Client day-start="1" day-end="15" time-start="00:00:00" time-end="04:00:00">
```

## um-define-junction SAF の disable-javascript-rewrite パラメータに関する情報

Proxy Server 4.0.15 では、Init ディレクティブの um-define-junction SAF 用の新しいパラメータ `disable-javascript-rewrite` がサポートされています。次の表に、この新しいパラメータに関する情報を示します。

パラメータ	説明
<code>disable-javascript-rewrite</code>	(省略可能) <code>has-javascript</code> パラメータが <code>yes</code> に設定されている場合に JavaScript 変数の名前に対してマッチさせる正規表現。名前が正規表現にマッチした変数は書き換えられません ( <code>has-javascript</code> が <code>yes</code> に設定されていると、通常であれば書き換えられます)。このパラメータのデフォルト値はありません。

## http-client-config SAF の forward-unread-request-body パラメータに関する情報

『Oracle iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 Configuration File Reference』の「[http-client-config](#)」には、Proxy Server 4.0.14 で使用可能になった `forward-unread-request-body` パラメータに関する情報は含まれていません。次の表に、このパラメータに関する情報を示します。

パラメータ	説明
<code>forward-unread-request-body</code>	(省略可能) 要求ヘッダーとは別の TCP パケットとして到着した要求本体を元のサーバーに転送すべきかどうかを示すブール値。デフォルト値は <code>false</code> ですが、これは、要求ヘッダーとは別の TCP パケットとして到着した要求本体が元のサーバーに転送されないことを意味します。

## obj.conf ファイルの <Include> タグに関する情報

Proxy Server 4.0.15 では、`obj.conf` ファイルの新しいタグがサポートされています。このタグ `<Include>` は別のファイルの内容を `obj.conf` ファイルにインクルードします。したがって事実上、構成情報を管理しやすく `obj.conf` の内容を複数のファイルに分割することが可能となります。

`<Include>` タグの構文は次のとおりです。

```
<Include>
  filename
</Include>
```

ここで *filename* は、`obj.conf` 内の `<Include>` タグの位置にインクルードされるファイルの名前です。

`<Include>` タグを使用する際には次の点に留意してください。

- `<Include>` タグは `<Object>` のコンテキストの外側で使用できます。たとえば、あるファイル内にすべての `Init` ディレクティブを格納したあと、そのファイルを `obj.conf` の先頭にインクルードしたりすることができます。
- インクルード対象ファイルにはほかのインクルード対象ファイルを含めることができます。つまり、インクルード対象ファイル自身に `<Include>` タグを含めることができます。
- インクルード対象ファイルが `<Object>` の境界を横断することはできません。つまり、インクルード対象ファイル内で、あるオブジェクトを終了して別のオブジェクトを開始することはできません。

## dns-config SAF の lookup-ipv6-first パラメータに関する情報

Proxy Server 4.0.15 では、DNS ディレクティブの `dns-config` SAF 用の新しいパラメータ `lookup-ipv6-first` がサポートされています。次の表に、この新しいパラメータに関する情報を示します。

パラメータ	説明
<code>lookup-ipv6-first</code>	(省略可能) IPv6、IPv4 のどちらのアドレスを先に検索するかを指定するブール値。デフォルト値は <code>false</code> ですが、これは、IPv4 アドレスが先に検索されることを意味します。

## NameTrans ディレクティブの regexp-redirect 関数に関する情報

『[Oracle iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 Configuration File Reference](#)』の「NameTrans」には、`regexp-redirect` 関数についての情報が含まれていません。この関数についての情報を次に示します。

### regexp-redirect

NameTrans クラスのディレクティブに適用可能です。

`regexp-redirect` 関数を使うと、URL を変更し、その更新後の URL をクライアントに送信することができます。クライアントが古いパスでサーバーにアクセスすると、サーバーはその要求を新しい URL に対する要求として処理します。

パラメータ

次の表では、`regexp-redirect` 関数のパラメータについて説明します。

パラメータ	説明
<code>from</code>	マッチング対象となる要求 URI の接頭辞の正規表現。
<code>url/url-prefix</code>	<code>url</code> は、クライアントに返す完全な URL を指定します。 <code>url-prefix</code> は、クライアントに返す新しい URL 接頭辞を指定します。 <code>from</code> 接頭辞がこの URL 接頭辞で単純に置き換えられます。これらのパラメータを一緒に使用することはできません。
<code>escape</code>	(省略可能) URL に対して <code>util_uri_escape</code> を実行したあとで URL を送信するようにサーバーに指示するフラグ。これは <code>yes</code> 、 <code>no</code> のいずれかにすべきです。デフォルトは <code>yes</code> です。  <code>util_uri_escape</code> の詳細については、 <a href="#">『Oracle iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 NSAPI Developer's Guide』</a> を参照してください。
<code>bucket</code>	(省略可能) <code>obj.conf</code> のすべての関数に共通します。

## send-error SAF の `status-code` および `status-desc` パラメータに関する情報

Proxy Server 4.0.15 では、`Service` および `Error` ディレクティブの `send-error SAF` 用の新しいパラメータが2つサポートされています。次の表に、これらの新しいパラメータに関する情報を示します。

パラメータ	説明
<code>status-code</code>	(省略可能) HTTP 応答に設定すべき状態コードを指定します。これは、 <code>code</code> パラメータとは異なります。 <code>code</code> が <code>send-error SAF</code> の実行を起動するエラーコードを指定するのに対し、 <code>status-code</code> は、 <code>send-error SAF</code> によって生成される応答に設定すべき状態コードを指定するからです。
<code>status-desc</code>	(省略可能) 状態コードの理由を表す文字列を指定します。

## `magnus.conf` ファイルの新しいディレクティブに関する情報

この節では、`magnus.conf` ファイルに追加されたディレクティブの一覧を示します。これらのディレクティブは、[『Oracle iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 Configuration File Reference』](#) の第3章「[Syntax and Use of the magnus.conf File](#)」には記載されていません。

表3 magnus.conf ディレクティブ

パラメータ	有効な値	説明
ChannelPoolMonitorInterval	任意の秒数	(4.0.14 リリースで追加されました。) Proxy Server が、チャンネルプールの期限切れの接続または閉じられた接続を確認する頻度 (秒単位) を指定します。この値は、ChannelPoolValidate が true に設定されている場合に使用されます。デフォルト値は 30 です。
ChannelPoolValidate	true、false	(4.0.14 リリースで追加されました。) Proxy Server が、ChannelPoolMonitorInterval 秒ごとに、チャンネルプールの期限切れの接続または閉じられた接続を積極的に確認するようにします。デフォルト値は false です。
ChannelReuseValidate	true、false	(4.0.14 リリースで追加されました。) Proxy Server が、チャンネルプール内のチャンネルを、再利用する前に検証するようにします。デフォルト値は false です。
FtpPoolSize	1 – 65536	(4.0.12 リリースで追加されました。) FTP 接続プールのサイズを指定します。デフォルト値は 256 です。
FtpPoolLife	1 – 65536	(4.0.12 リリースで追加されました。) 接続の寿命を秒単位で指定します。これは、監視スレッドによって閉じられるまでに FTP 接続がプール内で未使用の状態を保持している時間です。デフォルト値は 3600 です。
FtpPoolMonitorThread	OFF	(4.0.12 リリースで追加されました。) FTP スレッドの機能の監視に関するプール値を指定します。デフォルトは ON です。
FtpPoolMonitorLevel	0	(4.0.12 リリースで追加されました。) 整数値を指定します。0 に設定すると、プール監視スレッドが接続の有効/死んでいるをチェックします。  1 に設定すると、接続に対して NOOP コマンドが送信され、応答を待機します。応答の取得に失敗すると、プールから接続が削除されます。デフォルトレベルは 1 です。

表3 magnus.conf ディレクティブ (続き)

パラメータ	有効な値	説明
FtpPoolMonitorInterval	30 - 65536	(4.0.12 リリースで追加されました。) プールの接続の監視間隔を秒単位で表す整数値を指定します。デフォルト値は 30 です。
LDAPPoolMonitorThread	ブール型の値を取ります。	(4.0.12 リリースで追加されました。) TRUE に設定すると、ldap 接続プールを一定の間隔で監視する ldap プール監視スレッドが作成されます。デフォルト値は FALSE です。
LDAPPoolMonitorInterval	整数の引数を取ります。	(4.0.12 リリースで追加されました。) ldap プール監視スレッドが ldap 接続プールを検査する間隔を指定します。デフォルト値は 30 です。
LDAPPoolRevalidate	ブール型の値を取ります。	(4.0.12 リリースで追加されました。) TRUE に設定すると、接続プールから取得されたすべての接続は、呼び出し元に渡される前に「再検証」されます。デフォルト値は FALSE です。
RouteOfflineCheckInterval	整数値を取ります。	(4.0.15 リリースで追加されました。) ルーティングサブシステムによってオフラインとしてマークされたゲートウェイに対して Proxy Server が健全性検査を実行する間隔を、秒単位で指定します。デフォルト値は 30 です。

## ドキュメント、サポート、およびトレーニング

Oracle Web サイトには、次の追加リソースに関する情報が用意されています。

- ドキュメント (<http://docs.sun.com/>)
- サポート (<http://www.sun.com/support/>)
- トレーニング ([http://education.oracle.com/pls/web\\_prod-plq-dad/db\\_pages.getpage?page\\_id=315](http://education.oracle.com/pls/web_prod-plq-dad/db_pages.getpage?page_id=315))

## 製品資料の検索

製品ドキュメントの検索には、docs.sun.com Web サイトからだけでなく検索エンジンも使用することができ、その場合は検索フィールドに次の構文を入力します。

```
search-term site:docs.sun.com
```

たとえば、「proxy」を検索するには、次のように入力します。

proxy site:docs.sun.com

検索に [java.sun.com](http://java.sun.com)、[www.sun.com](http://www.sun.com)、[developers.sun.com](http://developers.sun.com) などのほかの Oracle Web サイトも含めるには、「docs.sun.com」の代わりに「sun.com」を検索フィールドに入力します。

## サードパーティー Web サイトの参照

このマニュアルでは、サードパーティーが提供している URL で関連する追加情報を参照します。

---

注 - このマニュアル内で引用するサードパーティーの Web サイトの可用性について Oracle は責任を負いません。こうしたサイトやリソース上の、またはこれらを通じて利用可能な、コンテンツ、広告、製品、その他の素材について、Oracle は推奨しているわけではなく、Oracle はいかなる責任も負いません。Oracle は、これらのサイトあるいはリソースに関する、あるいはこれらのサイトから利用可能であるコンテンツ、製品、サービスのご利用あるいは信頼によって、あるいはそれに関連して発生するいかなる損害、損失、申し立てに対する一切の責任を負いません。

---

## 既知の問題点

この節では、iPlanet Web Proxy Server 4.0.13 のリリース時点におけるより重要な既知の問題および制限事項を一覧表示します。問題をカテゴリごとに記述します。

- 25 ページの「管理」
- 27 ページの「キャッシュ」
- 27 ページの「Installation」
- 28 ページの「国際化」
- 29 ページの「Localization」
- 30 ページの「SOCKS」
- 30 ページの「マニュアル」

## 管理

次の表は、管理ユーザーインターフェースに関連した既知の問題を一覧したものです。

表4 管理における既知の問題

ID	概要
6653507	「Monitor Current Activity Statistics/Profiling」が ON に設定されている場合、ユーザーのインターフェースからは OFF にできません。

表4 管理における既知の問題 (続き)

ID	概要
6212701	<p>サーバーインスタンスの起動に失敗すると、相反するエラーメッセージが表示されます。</p> <p>管理インタフェースが間違っただけの構成ファイルに書き込む可能性は非常に低いので、この相反するエラーメッセージが表示されることはめったにありません。ユーザーが手動で間違っただけの構成ファイルに書き込んだ場合にのみ可能性があります。</p>
6231297	<p>SOCKS 設定に変更を加えて、SOCKS サーバーの代わりに Proxy Server を再起動した場合は、「Restart Required」リンクが消えます。</p>
6484502	<p>Proxy Server の管理インタフェースがローカライズされていません。</p>
6509535	<p>米国では、3月の第2日曜日にサマータイム (DST) が始まり、11月の第1日曜日に終了します。これは、オペレーティングシステムと JRE の日付と時刻の規則に影響を与えます。</p> <p>プロキシサーバーのスタンドアロンバージョンでは、2007年のDSTの変更に対応する JRE バージョンがインストーラにバンドルされています。ただし、回避策の手順1の説明に従って適切なオペレーティングシステムのパッチをインストールすることにより、オペレーティングシステムの日付と時刻の規則への影響に対処する必要があります。</p> <p>JavaES5のプロキシサーバーのインストールでは、オペレーティングシステムのパッチとともに DST 互換バージョンの JRE もインストールする必要があります。回避策の手順1および2に従ってください。</p> <p>回避方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>適切なオペレーティングシステムパッチをダウンロードして使用します。Solaris パッチは <a href="http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-26-102775-1">http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-26-102775-1</a> からダウンロードできます。その他のプラットフォームの場合は、同様のDST互換パッチをオペレーティングシステムのベンダーのWebサイトからダウンロードしてください。</li> <li>Solaris、Windows、およびLinuxプラットフォームの場合は、JRE 1.4.2_13を使用してプロキシサーバーを実行してください。HP-UXプラットフォームの場合は、JRE 1.4.2.12を使用してプロキシサーバーを実行してください。</li> </ol>
6558027	<p>Windows で複数バイト文字のサーバー識別子を使用すると、サーバー側で createInstance.exe のエラーが発生します。</p>
6867774	<p>カスタム JDK 設定を使用するプロキシのインストールを、より新しいJDKバージョンを要求するサービスパックのバージョンにアップグレードすると、管理サーバーが起動に失敗します。アップグレード後、バンドルされたJDKまたは要求されたバージョンのカスタムJDKのどちらかを指すようにJDK設定を手動で修正する必要があります。</p>

表4 管理における既知の問題 (続き)

ID	概要
6909558	LDAP uid でのバックスラッシュの使用は、特殊文字をエスケープする目的に限定すべきです。Proxy サーバーによって使用される ldap sdk は、バックスラッシュを削除してから uid をディレクトリサーバーに送信します。これにより、バックスラッシュを取り除いた uid に対する一致がディレクトリサーバーに見つからないために、成功するはずの認証が失敗する、またはバックスラッシュを取り除いた uid に対する一致がディレクトリサーバーに見つかるために、失敗するはずの認証が成功する、という状況が生じる可能性があります。
6888170	指定されたターゲットディレクトリ名の末尾にスラッシュが付いている場合、RHEL4 でアップグレードが失敗します。

## キャッシュ

次の表は、キャッシュに関連した既知の問題を一覧したものです。

表5 キャッシュにおける既知の問題

ID	概要
6654514	要求タイプ 504 に対して、Proxy-Agent ヘッダーに元のヘッダーが表示されます。
6229823	新しいパーティションを追加すると、パーティションのサイズに関係なく、デフォルトのセクション s0.0 も作成されます。エラーファイルに警告メッセージが記録されます。  回避方法  cbuild ユーティリティを使用して、新しいパーティションを追加するか、または新しいキャッシュパーティション下の s0.0 フォルダを削除し、プロキシサーバーを再起動します。  エラーメッセージは無視して構いません。
6619620	Doc RFE: Proxy Server をネットワークキャッシュとアクセラレータ (NCA) と一緒に使用すべきではありません。  Proxy Server 4.0.8 を NCA と一緒に使用すると、ユーザー ID とパスワードの入力をブラウザから繰り返し求められます。これは、NCA が Proxy-authorization のような Proxy 固有のヘッダーをサポートしないために発生します。  回避方法  Proxy の待機ソケット設定で NCA を選択しないでください。

## Installation

次の表は、インストールに関連した既知の問題を一覧したものです。

表6 インストールにおける既知の問題

ID	概要
6205683	Windows 上のコンソールインストールに失敗します。
6255325	root ユーザーでないユーザーが Proxy Server をインストールし、/var/opt/sun/install ディレクトリが存在しない場合、インストーラは例外をスローし、Linux でのインストールは失敗します。
6353576	サイレントアップグレードインストールが機能しません。
6587776	Windows XP 上で Java ES 5 から Proxy Server をインストールした場合、システムエラー 1067 が表示されます。
6756659	setup コマンドの --javahome オプションで JDK 1.6 の場所を指定した場合のみ、GUI インストーラを使用して OpenSolaris 上に Proxy Server 4.0.9 をインストールできます。
6607551	Windows 上で、パッチをアンインストールしても Proxy Server のバージョンは以前のバージョン番号に変更されません。  Uninstaller スクリプトを使用してパッチを取り消しても RenameService.exe ユーティリティーに制限があるため、サービス記述名を以前の Proxy Server のバージョンに変更できません。このため、パッチをアンインストールしたあとでも、サービス記述には以前のバージョン番号ではなく最新の Proxy バージョンが表示されます。

## 国際化

次の表は、国際化に関連した既知の問題を一覧したものです。

表7 国際化における既知の問題

ID	概要
6233080	ルーティングが別のプロキシサーバーを使って設定されている場合、「Disable Proxying」オプションはマルチバイトデータ (URL エンコード) の URL では機能しません。
6233090	マルチバイトデータ (URL エンコード) の URL をマップできません。
6253844	プロキシサーバーのオンラインヘルプは zh-cn (簡体字中国語) をサポートしていません。

表7 国際化における既知の問題 (続き)

ID	概要
6297168	異なるシステムエンコーディングでサーバーを起動すると、そのシステムエンコーディングのシステムによってエラーが発生し、エラーログに記録されます。管理サーバーから表示すると、エラーログには正しく表示されないシステムエンコーディングの文字が含まれる場合があります。  回避方法  エラーログが管理インタフェースで正しく表示できるように、ブラウザのエンコーディングをOSロケールに合うように変更します。しかし、この手順は他のページに移動して「View Error Log」に戻るたびに必要となります。
6300080	プロキシサーバーのコンテンツ書き換え関数が矛盾しています。
6526476 および 6526488	HP-UXでのプロキシサーバーのスタンドアロンインストールでは、GUIモードでインストールを行うと日本語の文字が正しく表示されません (ID番号6526476)。そのままインストールを続行すると、インスタンスの作成中にエラーが発生します (ID番号6526488)。  回避方法  次のいずれかの回避策を使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ HP-UXの日本語ロケールではCLIモードのインストールを使用します。</li> <li>■ 文字が破壊されて表示されていても、インストールを続行します。インストーラがインスタンスの作成に失敗した場合は、管理インタフェースにログオンしてインスタンスを作成します。</li> </ul>
6550995	次のエラーメッセージは、どのロケールに対してもローカライズされていません。  HTTP7774: received extraneous data following response

## Localization

次の表は、ローカリゼーションに関連した既知の問題を一覧したものです。

表8 ローカリゼーションにおける既知の問題

ID	概要
6779070	Proxy Server OLHの利用規約のリンクが壊れています。
6253844	Proxy Server OLHの設定言語オプションは、zh-cn (簡体字中国語) をサポートしていません。
6828246	RHEL 5.2のProxy Server インストーラで、韓国語の文字が表示されません。

## SOCKS

次の表は、SOCKSに関連した既知の問題を一覧したものです。

表9 SOCKSにおける既知の問題

ID	概要
6245453	更新抑制機能はGUIに表示され、「Server Manager」>「SOCKS」>「Configure SOCKS v5」ページに説明がありますが、この機能は実装されていません。
6263389	Windows で同じポートを使用して SOCKS の2つのインスタンスを起動すると、エラーがレポートされません。
6285791	JavaES 4 の SOCKS サーバーの start コマンド行の問題はこのリリースで修正されましたが、JavaES 4 インストールで作成された既存のインスタンスでは、最新の 4.0.3 パッチにアップグレードしたあとも問題が残ります。アップグレード後に作成された新しいインスタンスにはこの問題はありません。この問題は、Proxy Server のスタンドアロンインストールでは発生しません。

## マニュアル

次の表は、Proxy Server 4.0のマニュアルに関連した既知の問題を一覧したものです。

表10 マニュアルにおける既知の問題

ID	概要
6957135	Proxy Server 4.0.12 で追加された <code>magnus.conf</code> ディレクティブのドキュメントが、『Oracle iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 Configuration File Reference』の第3章「Syntax and Use of the <code>magnus.conf</code> File」に含まれていません。  回避方法 これらのディレクティブのドキュメントが必要な場合は、22ページの「 <code>magnus.conf</code> ファイルの新しいディレクティブに関する情報」を参照してください。

## Proxy Server 4.0の以前のリリースでの諸機能および拡張機能

Proxy Server 4.0.14 より前の Proxy Server 4.0 リリースの機能および拡張機能については、各リリースに固有のリリースノートで説明されています。これらは [docs.sun.com](http://docs.sun.com/prod/webproxys4.0#hic) (<http://docs.sun.com/prod/webproxys4.0#hic>) で入手できます。この節では、4.0.13 から現行リリースまでの Proxy Server 4.0 リリースで提供されている重要な機能および拡張機能の一覧を示します。

## 4.0.14 の諸機能および拡張機能

表 11 に示されている多数のバグの修正に加えて、iPlanet Web Proxy Server の 4.0.14 リリースは、顧客の要求に対処するための次のいくつかの拡張機能を提供します。

- `magnus.conf` ファイルに `ChannelPoolValidate` ディレクティブが追加されました。このディレクティブは、チャンネルプールの期限切れの接続または閉じられた接続を積極的に確認するかどうかを制御します。
- `magnus.conf` ファイルに `ChannelPoolMonitorInterval` ディレクティブが追加されました。このディレクティブは、チャンネルプールの期限切れの接続または閉じられた接続を確認する頻度を指定します。
- `magnus.conf` ファイルに `ChannelReuseValidate` ディレクティブが追加されました。このディレクティブは、持続的接続を、再利用する前に検証するかどうかを制御します。
- `http-client-config` SAF に `always-retry-stale-keep-alive` パラメータが追加されました。このディレクティブは、期限切れの持続的接続のために要求が失敗したときに、再試行の数が 0 に設定されている場合でも HTTP クライアントが失敗した要求を再試行するかどうかを制御します。

## Proxy Server 4.0 の以前のリリースで解決済みの問題

この節では、次のリリースで修正されたもっとも重要な問題を一覧表示します。

- 31 ページの「4.0.14 で修正された問題」
- 35 ページの「4.0.13 で修正された問題」
- 36 ページの「4.0.12 で修正された問題」
- 37 ページの「4.0.11 で修正された問題」
- 38 ページの「4.0.10 で修正された問題」
- 40 ページの「4.0.9 で修正された問題」
- 41 ページの「4.0.8 で修正された問題」
- 42 ページの「4.0.7 で修正された問題」
- 44 ページの「4.0.6 で修正された問題」
- 47 ページの「4.0.5 で修正された問題」
- 49 ページの「4.0.4 で修正された問題」
- 55 ページの「4.0.3 で修正された問題」
- 59 ページの「4.0.2 で修正された問題」
- 60 ページの「4.0.1 で修正された問題」

### 4.0.14 で修正された問題

次の表は、iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 で修正された問題を一覧したものです。

表 11 iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 で修正された問題

ID	概要
6914759	プール監視スレッドの間隔を設定可能にするべきです。
6916393	Proxy 4.0: チャンネルプールの実装: プールされたチャンネルのオプションの検証が必要です。
6917624	Proxy 4.0: キープアライブ接続の期限が切れている場合、httpclient は(オプションで)常に再試行するべきです。
6917655	Proxy 4.0: 再利用の前に(オプションで)接続を検証します。
6920803	新しいディレクティブのドキュメント化: 6916393 の修正の一部として ChannelPoolValidate が追加されました。
6920804	新しいディレクティブのドキュメント化: 6914759 の修正の一部として ChannelPoolMonitorInterval が追加されました。
6920805	新しいディレクティブのドキュメント化: 6917624 の修正の一部として ChannelReuseValidate が追加されました。
6920806	新しいパラメータのドキュメント化: 6917655 の修正の一部として always-retry-stale-keep-alive が追加されました。
6920836	パッチ #120981-19 の Readme に CR#6648470 が記載されていません。
6921169	マニュアルに http-client-config の「retries」パラメータに関する説明がありません。
6921170	retries="0"での動作が説明されていません。
6921721	Proxy 4.0: linux 上での負荷の高い状況でのクラッシュ
6923914	SJSPS 4.0.13 サーバーインスタンスが、T5240 Niagara 認証トークン「Sun Metaslot」のための起動に失敗します。
6931137	Proxy 4.0: ブランド変更: インストーラ: デフォルトのインストール場所の変更
6931138	Proxy 4.0: ブランド変更: 製品名/バージョン文字列の変更
6931139	Proxy 4.0: ブランド変更: 管理 OLH: イメージとリンクの変更
6931140	Proxy 4.0: ブランド変更: 管理 GUI 画面の上部のフレームを、Oracle のブランド変更を反映するように変更する必要があります。
6931141	Proxy 4.0: ブランド変更: 管理: 「バージョン」ポップアップウィンドウ内の著作権テキストを変更するべきです。
6931142	Proxy 4.0: ブランド変更: Oracle のブランド変更の一部として製品の README ファイルを更新するべきです。
6931143	Proxy 4.0: ブランド変更: インストーラ: インストーラの左の区画のイメージの変更
6931988	Proxy 4.0: ブランド変更: インストーラにライセンスを表示すべきではありません。

表 11 iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6931989	Proxy 4.0: ブランド変更: ブラウザ IE8 および FF 3.5 のサポート
6931990	Proxy 4.0: ブランド変更: Oracle のブランド変更の一部として製品ライセンスファイルを更新する必要があります。
6931991	Proxy 4.0: ブランド変更: インストーラ: 製品名を変更する必要があります。
6931994	Proxy 4.0: ブランド変更: インストーラ: インストーラ/アンインストーラのログファイル名の変更
6931996	Proxy 4.0: ブランド変更: インストーラ: インスタンス/管理スクリプト/設定内の著作権文字列を変更する必要があります。
6931997	Proxy 4.0: ブランド変更: dtd ファイル名を変更する必要があります。
6932000	Proxy 4.0: ブランド変更: 「Proxy-agent」 ヘッダーのデフォルト値を変更する必要があります。
6932002	Proxy 4.0: ブランド変更: ACL テンプレート内のデフォルトの認証プロンプトを変更する必要があります。
6932476	Proxy 4.0: NTLM サポート: サーバーが接続プール内のアイドル接続の間違ったカウントを保持しています。
6932483	Proxy 4.0: NTLM: サーバーは、認証された接続を通過する応答をキャッシュすべきではありません。
6933138	Proxy 4.0: ブランド変更: 外部のヘッダーファイル内の著作権文字列の変更
6933148	Proxy 4.0.13 管理 GUI のデフォルトのセキュリティ暗号化モジュールは NSS Generic Crypto Ser に設定されるべきではありません。
6933175	WPS で、ローカル fs からの任意のファイルの読み取りを許可する入力チェックエラーが発生します。
6933223	4.0.14 でのバージョン変更
6933599	Proxy 4.0: 「Proxy-support:」 ヘッダーのサポートに関する問題
6933647	Proxy 4.0: ブランド変更: 管理 OLH: 新しい製品名を反映するための変更
6934367	Windows でアップグレードすると、「プログラムの追加と削除」に「Oracle iPlanet Web Proxy Server」のエントリが作成されます。
6936445	Proxy 4.0.13 - 2 つの新しい CA ルート証明書を管理 GUI から正しく表示できません。
6937256	管理 GUI の ACL 設定の下にある「送信」ボタンと「元に戻す」ボタンが Firefox 3.6 で表示されません。
6937459	プロキシが POST エンティティ本文のない POST ヘッダーを転送します。

表 11 iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6939617	Proxy 4.0: ブランド変更: インストール: 製品名を変更すると Windows のアップグレードが失敗します。
6939990	Proxy 4.0: ブランド変更: 管理 GUI: 「バージョン」 ポップアップ内のイメージの変更
6940022	Proxy 4.0: コンパイラのバージョン変更: Sun Studio 12 に移行します。
6941325	Proxy 4.0 のドキュメント: 『プロキシ管理ガイド』 でキャッシュ容量を更新する必要があります。
6941493	Proxy 4.0: ブランド変更: パッケージ/rpm 関連ファイルに対する変更
6941954	Proxy 4.0: ブランド変更: 管理サーバーのレルム文字列に 「Web」 接頭辞を含めるべきではありません。
6941956	Proxy 4.0: ブランド変更: OLH: 「Document Information」 ページの変更/削除
6944070	Proxy 4.0: ブランド変更: 管理 GUI バージョンのウィンドウタイトルを変更する必要があります。
6945311	Proxy 4.0: ブランド変更: 管理 GUI のプロキシエージェントヘッダーに Oracle iPlanet Proxy Server を表示するべきです。
6945318	Proxy 4.0: キャッシュファイルの期限が切れているとき、urldb が無効な警告/エラーメッセージを発行します。
6946167	Proxy 4.0: ブランド変更: Windows でのアップグレードで、「スタート」 > 「プログラム」 の新しいエントリが作成されるべきではありません。
6955678	ディレクトリのアクセス権に関する問題
6955684	ファイルのアクセス権に関する問題
6955723	JSESSIONID に関する問題
6955741	HTML ページに関する問題
6955759	管理コンソールに関する問題 (パラメータ INSTANCE_NAME)
6955761	管理コンソールに関する問題 (Reflected XSS)
6955762	管理コンソールに関する問題 (パラメータ absolute)
6955763	管理コンソールに関する問題 (パラメータ mime)
6955764	管理コンソールに関する問題 (パラメータ cmd)
6955765	管理コンソールに関する問題 (パラメータ type)
6955766	管理コンソールに関する問題 (adminReferrer)
6955769	管理コンソールに関する問題 (リソース)

表 11 iPlanet Web Proxy Server 4.0.14 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6956084	管理コンソールに関する問題 (ターゲット)
6956086	管理コンソールに関する問題 (dscruser-lang)
6956143	管理コンソールに関する問題 (clickjacking)

## 4.0.13 で修正された問題

次の表は、iPlanet Web Proxy Server 4.0.13 で修正された問題を一覧したものです。

表 12 iPlanet Web Proxy Server 4.0.13 で修正された問題

ID	概要
6886805	ftp URL に対する POST 要求の処理中に、Proxy Server 4.0 が CPU 使用率の高いループに陥っているように見えます。この問題にはメモリーの増加が伴います。
6896637	ftp HEAD 要求の処理中に Proxy Server 4.0 で CPU 使用率が上昇し、メモリーリークが発生します。
6896640	server.xml に GC 関連の設定が含まれていない場合、Proxy Server 4.0 が起動中にクラッシュします。
6900117	SSL/TLS の脆弱性に関する修正を含む NSS 3.12.5 を統合します。
6905852	キャッシュサブシステムのバグが原因で Proxy Server 4.0 がクラッシュします。
6862976	Proxy Server 4.0 の「map」SAF は、リモートサーバー上の特定のファイルへのマッピングを許可するべきです。
6875375	Proxy Server 4.0 管理 GUI の Cache View (cv) プログラムがクラッシュします。
6878190	インストールユーザーとインスタンスユーザーが同じ (たとえば、root) 場合、Proxy Server 4.0.x は Sun Fire T-Series Crypto Accelerator をサポートします。
6878699	grpfile ユーザーが複数のグループに属する場合、Proxy Server 4.0.8 にはこのユーザーに関する .htaccess の問題があります。
6885145	"HTTP3287: connection limit (XXXX) exceeded, closing socket" 要求が ConnectionQueue のサイズを超えるたびに、Proxy Server 4.0 が上記のエラーメッセージを表示します。
6888184	アップグレード後、インストーラが Proxy Server 4.0.11 に意味不明なメッセージを表示します。
6891353	Proxy Sever 4.0.x で \$ 文字が認識されません。
6895030	負荷の高い状態で、既存のロックファイルが原因でキャッシュ完了状態が存在しないか、または空である可能性があります。

表 12 iPlanet Web Proxy Server 4.0.13 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6897536	Proxy 4.0 は現在、「Proxy-support: Session-Based-Authentication」によって保証された動作をサポートしません。
6898929	Proxy 4.0.13 は Microsoft Windows 2008 Enterprise Edition をサポートします。
6900151	キャッシュオブジェクトのサイズがリモートサーバーで変更されたあとにそのオブジェクトが更新中であり、チャンク化エンコードが使用される場合、キャッシュ完了状態がサーバーのアクセスログに存在しません。
6901079	バックエンドサーバーから受信する任意のエラー応答に対して Error ステージを必要に応じて実行するように <code>httpClient</code> を強化できます。
6906258	Proxy Server 4.0 は、 <code>dbswitch.conf</code> で任意の LDAP 検索フィルタをサポートする必要があります。
6906789	負荷の高い状況で、破損したキャッシュファイルが Proxy 4.0 のインストールキャッシュに生成される可能性があります。
6910914	<code>send-error</code> で URL マッピングが機能しません。

## 4.0.12 で修正された問題

次の表は、iPlanet Web Proxy Server 4.0.12 で修正された問題を一覧したものです。

表 13 iPlanet Web Proxy Server 4.0.12 で修正された問題

ID	概要
6856153	ftp サブシステムで高負荷時に Proxy 4.0 がクラッシュします。
6856800	Proxy Server 4.0.8 で、高負荷環境下でマッピングキャッシュが壊れます。
6869927	NSS 3.12 を統合します。
6882485	ICP が有効で <code>MaxProcs</code> が 1 より大きい場合に、Proxy Server 4.0 が起動中にクラッシュします。
6851886	妥当性検査のために <code>ldap</code> 接続プールを監視する専用スレッドを追加します。
6863071	(約 150 文字を超える) 長いクエリー文字列に対して Proxy Server 4.0 でキャッシュ処理が発生しません。
6864966	サービス名からバージョン番号を取り除くための機能要求 (Proxy Server 4.0.11)。
6864967	アップグレードのカスタム Proxy Server インストールで <code>javahome</code> をいつチェックするかをエンドユーザーに通知します。
6868580	4.0.12 でのバージョン変更。
6872808	Proxy Server 4.0 は Windows 2003 R2 SP2 をサポートするべきです。

表 13 iPlanet Web Proxy Server 4.0.12 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6874449	Proxy Server 4.0 ビルドパッチスクリプトで、新しい buildpatch の場所の通知を受ける必要があります。
6876811	extended2 ログイングで、SSL トンネルが初期待ち時間および全体待ち時間をログに記録しません。
6882926	Solaris x86 で Proxy Server 4.0 の ICP ポートが利用できません。
6883024	Proxy Server 4.0 のバイト範囲の処理が壊れています。
6883480	キャッシュファイルの検索中に Proxy Server 4.0 が「不正な CIF エントリ」メッセージを表示します。
6883492	Proxy Server 4.0 が、x86 上のピアによる ICP メッセージを受信しません。
6878213	send-error が、エラーファイルのパスをブラウザのロケールに基づいて選択する必要があります。

## 4.0.11 で修正された問題

次の表は、iPlanet Web Proxy Server 4.0.11 で修正された問題を一覧したものです。

表 14 iPlanet Web Proxy Server 4.0.11 で修正された問題

ID	概要
6835885	Proxy Server 4.0 の ftp サブシステムには、メモリー破壊やサーバークラッシュを引き起こすバグが含まれています。
6837779	ftp 経由でディレクトリにアクセスしているときに、Proxy Server 4.0 の ftp サブシステムでメモリーリークが発生します。
6842576	Proxy Server 4.0 のキャッシュサブシステムはメモリー破壊を引き起こすバグを含んでおり、応答がキャッシュから取り出される場合に不完全な応答ヘッダーを返します。
6844188	FTP 要求に対する応答をキャッシュから取り出しているときに、メモリー破壊により Proxy Server 4.0 がクラッシュする可能性があります。
6847078	Proxy Server 4.0 のキャッシュサブシステムは要求を処理する際に、破壊されたキャッシュファイルを特定し、そのようなファイルを処理しないようにすべきです。
6847467	pre-filter SAF を使用するように Proxy Server 4.0 を設定すると、サーバーがクラッシュします。
6853447	pre-filter SAF に関連付けられたスクリプトの先頭に空行が含まれていると、Proxy Server がクラッシュします。

表 14 iPlanet Web Proxy Server 4.0.11 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6827602	Proxy Server 4.0 の統計生成で、「Client DNS cache」(host-to-ip)、「Host DNS cache」(ip-to-host)の両方に対するデータが表示されるべきです。
6836430	Proxy Server 4.0.9 で Expires ヘッダーが正しく処理されません。
6837471	Proxy Server 4.0.9 が Linux 上で統計ページの表示に失敗し、「500 Error」をスローします。
6838323	Proxy Server 4.0 で <NameTrans fn="set-variable" error="504"> を処理する際に、不正な「504 Gateway Timeout Error」が表示されます。
6838907	Proxy Server 4.0 用の Windows Installer が、サーバーインスタンスでは 1024 未満のポート値を許可しないのに、管理サーバーでは許可します。
6843724	Proxy Server 4.0 のガベージコレクションで、高負荷時に競合状態が発生することがあります。
6847488	Proxy Server 4.0 の管理インタフェースのバグにより、「+」文字を含むテンプレート割り当ての編集が困難になっています。
6847849	Proxy Server 4.0 の管理インタフェースでキャッシュの「Working Directory」を変更したときに、server.xml ファイルが更新されません。
6848296	Proxy Server 4.0 で、ACLCacheMax パラメータの使用中に認証の問題が発生します。
6849204	Proxy Server 4.0 で、parray モジュールの問題によりメモリー破壊やサーバークラッシュが発生する可能性があります。
6849650	MaxProcs が 1 より大きい値に設定されていると、再起動中に Proxy Server がクラッシュします。
6853436	「Set Cache Specifics」によるキャッシュサイズの更新中に server.xml が更新されません。
6808135	Proxy Server 4.0.9 の管理 GUI、管理 CLI の両方で、「Server Config Information」パネルにアクセスしているときに誤植の問題が発生します。
6825292	Proxy Server 4.0 の管理 GUI で、ip-dns-cache-init、host-dns-cache-init の両方のタイプの DNS キャッシュを有効化または無効化できるようにすべきです。
6840526	Proxy Server 4.0 で parray コードの問題が発生する可能性があります。
6841509	Proxy Server のインストール中に「Startup on Boot = yes」を選択すると、エラーが発生します。
6843134	自動 GC の冗長ロギングモードが必要です。

## 4.0.10 で修正された問題

次の表は、iPlanet Web Proxy Server 4.0.10 で修正された問題を一覧したものです。

表 15 iPlanet Web Proxy Server 4.0.10 で修正された問題

ID	概要
6764910	動的再構成 (DR) が原因で Proxy Server 4.0 がクラッシュします。
6783252	Proxy Server 4.0 は、リモートサーバーによって non-cacheable としてマークされた応答に対し、キャッシュ完了ステータスを表示すべきです。
6793247	Proxy Server が HTTP 要求ヘッダー内のキャッシュ指令を無視できるようにすべきです。
6559322	Proxy Server は、32G バイトを超える大きなサイズの Web プロキシキャッシュをサポートする必要があります。
6773378	URL フィルタリングで相対 URL を指定できるようにする必要があります。そうすれば、URL フィルタリングと負荷分散を併用しやすくなります。
6781954	Cookie の指定に使用される、URL マッピング機能の pass thru-cookies パラメータが正しく機能しない場合が、ごくまれにあります。
6785653	プロキシ認証を含む POST の送信前に認証が行われていなかった場合、その POST が 407 エラーで失敗します。
6789769	URL フィルタ機能で CONNECT 要求が考慮されません。
6791870	Proxy Server の管理インタフェースで、同じ宛先への逆マッピングを複数作成することができません。
6798154	空白と単一引用符を含む特定の url 構文が、Proxy Emulator によって正しく変換されません。
6804616	Proxy Server 4.0.10 は次の機能をサポートします - HTTP/1.1 要求に対する透過プロキシのサポート。
6803379	iPlanet Web Proxy Server 4.0.9 のパッチ (120983-16 および以前のバージョン) は、RHEL 3.0、4.0、および 5.0 に対するサポートを提供します。
6796045	Proxy Server の管理インタフェースで、監視機能の DNS キャッシュ情報が適切に更新されるべきです。
6754044	Windows マシンで Proxy Server のアップグレードが失敗します。なぜなら、Windows マシンでは、Proxy Server 4.0 のインストールは 1 つしか存在できないからです。
6781259	Proxy Server のインストールウィザードで Java のバージョン情報が更新されません。
6820625	url で引用符のあとに空白が存在していると、URL の書き換えが失敗します。
6820622	without-lastmod が有効になっている場合に、Proxy Server が不正な If-modified-since: 要求ヘッダーを挿入します。
6817164	cbuild に、-R オプションの適切なヘルプメッセージを含めるべきです。
6816997	Proxy Server 4.0 の map SAF の HTTP リダイレクト機能に問題があります。

表 15 iPlanet Web Proxy Server 4.0.10 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6812802	HPUX 上で「 <b>Activate Statistics/Profiling</b> 」を有効にしても、DNSに関するプロキシ統計が表示されません。
6805450	DHML アプリケーションの使用中に Web Proxy Emulator で問題が発生します。

## 4.0.9 で修正された問題

次の表は、iPlanet Web Proxy Server 4.0.9 で修正された問題を一覧したものです。

表 16 iPlanet Web Proxy Server 4.0.9 で修正された問題

ID	概要
6712042	Proxy Server 4.0 の <code>cache_filter_remove</code> 機能でインスタンスがハングアップします。
6713723	Proxy Server 4.0 で、キャッシュのパーティションとセクションの <code>.size</code> ファイルに正確な値が表示されない場合があります。
6715885	Proxy Server 4.0 でキャッシュのロックファイルの問題に関するログのエラーメッセージがレポートされました。
6715891	Proxy Server 4.0 で CONNECT 要求のために作成されたテンプレートが正常に機能しません。
6721344	Proxy Server 4.0 にクライアントヘッダーを書き換えるための機能を実装する必要があります。
6722629	Proxy Server 4.0 が PORT モードで構成される場合、FTP サブシステムでファイル記述子がリークします。
6722646	Proxy Server 4.0 で HTTP の部分応答の処理中に、キャッシュサブシステムでファイル記述子がリークします。
6723344	Proxy Server 4.0 の起動時に、キャッシュ統計情報収集ロジックが完全なキャッシュトラバーサルを実行します。これが何度も実行されることが原因で、サーバーの起動が遅くなります。
6725741	Proxy Server 4.0 の管理インタフェースの統計またはプロファイルの機能を無効にできません。
6727215	Proxy Server 4.0 のアクセスログで、大きい負の値が <code>xfer-time</code> に存在します。
6728447	Proxy Server 4.0.7 では、URI にバックスラッシュの付いたクエリースtringが含まれる場合には、ダイジェスト認証は ACL ファイルを処理していました。
6735228	Proxy Server 4.0 のキャッシュサブシステムで、特定の状況下でファイル記述子がリークします。

表 16 iPlanet Web Proxy Server 4.0.9 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6739585	Proxy Server 4.0 で現在のキャッシュサイズを確認するための、より早い方法が必要です。
6740248	Proxy Server 4.0.7 で、管理 GUI の「Processes」と「Listen Queue Size」にデフォルト値ではなく NULL が表示されます。
674126	Proxy Server 4.0 のキャッシュサブシステムで性能最適化が必要です。
6745095	Proxy Server 4.0 はヘッダー名にスペースが埋め込まれた HTTP 応答を許容するべきです。
6745170	Proxy Server 4.0 は RHEL5 上でサポートされるべきです。
6746138	Proxy Server 4.0 は HTTP 要求のボディを書き換える機能を実装するべきです。
6747928	Proxy Server 4.0 を経由する FTP 要求に ftp://user:password@server などの @ 記号を含むパスワードがあると不正な応答が生成されます。
6750791	ACL サブシステムに問題があるため、Proxy Server 4.0.7 がロード中にクラッシュします。
6759153	URL のマッピングサブシステムに問題があるため、Proxy Server 4.0.8 がクラッシュします。
6762346	Proxy Server 4.0 で cache-control ヘッダーが適切に処理されません。
6768244	Proxy Server 4.0 でチャンネルのプールロジックが正常に機能しないため、サービスが利用できなくなります。また、メモリーリークの可能性がります。
6275141	Proxy Server 4.0 でファイルキャッシュ機能が実装されていません。
6767688	Proxy Server 4.0 で cache-control 指令の「only-if-cached」をサポートするべきです。
6767691	Proxy Server 4.0 で cache-control 拡張の「stale-while-revalidate」をサポートするべきです。

## 4.0.8 で修正された問題

次の表は、iPlanet Web Proxy Server 4.0.8 で修正された問題を一覧したものです。

表 17 iPlanet Web Proxy Server 4.0.8 で修正された問題

ID	概要
6648112	Proxy Server 4.0.6 および 4.0.7 には EPSV FTP 転送モードを無効にする方法が用意されていません。
6655221	Proxy Socks Server 4.x. 上でアイドル接続のための最大タイムアウトを長くしてください。

表 17 iPlanet Web Proxy Server 4.0.8 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6660265	flexanlg/dpstats ログアナライザが大きなアクセスログファイルを処理できません。
6260814	Proxy Server 4.0 で、より一層具体的なオブジェクトのブロック/フォワード IP 文字が正しく適用されません。
6664392	Proxy Server 4.0 で、vary ヘッダーが適切に処理されません。
6664646	Proxy Server 4.0 で、via ヘッダーが適切に処理されません。
6670738	Proxy Server 4.0 の FTP サブシステムで「CPU の利用率が高い」問題が発生する可能性があります。
6688600	Proxy Server 4.0.7 管理 GUI の「Caching」の「Schedule Garbage Collection」ページを使用すると、am が server.xml に追加されます。
6692494	Proxy Server 4.0 でクライアントへの書き込みに失敗したときに、キャッシュファイルが開いていないときでもキャッシュフィルタによってマスクされます。
6692495	Proxy Server 4.0 がガバレッジコレクション/キャッシュ反復コード中にクラッシュすることがあります。
6695257	URL マッピング機能を統合します。
6707473	FTP Proxy Server で、ヒープベースのバッファオーバーフローが発生します。
6708838	Proxy Server 4.0 での JDK 1.5 へのアップグレード。
6708842	Proxy Server 4.0 の遠隔測定機能。
6711396	顧客ログファイル内の dpstats ダンプコア。
6454382	逆プロキシは、set-cookie で Cookie domain 値の変更を許可すべきです。

## 4.0.7 で修正された問題

次の表は、iPlanet Web Proxy Server 4.0.7 で修正された問題を一覧したものです。

表 18 iPlanet Web Proxy Server 4.0.7 で修正された問題

ID	概要
6729343	<p>サーバーの実行中に Windows 2003 上で Proxy Server 4.0.7 にアップグレードすると失敗します。</p> <p>サーバーを停止せずに Windows 上で Proxy Server 4.0.6 から Proxy Server 4.0.7 にアップグレードすると、エラーによって処理に失敗します。</p> <p>サーバーを停止してからアップグレードすれば、アップグレードが正常に実行されます。</p>

表 18 iPlanet Web Proxy Server 4.0.7 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6261401	URL フィルタファイルは、 <code>conf_bk</code> ディレクトリではなく <code>config</code> ディレクトリの下に作成されるべきです。
6590476	FTP サブシステムが古い接続を正しく閉じません。
6591980	URL フィルタの所有権がサーバーインスタンスユーザーの所有者に設定されません。
6592079	バックアップファイルが間違った所有権で作成されています。
6594729	HTTP7756: 無効なレスポンスヘッダーを受信するが、ファイルがクライアントに提供されます。
6595773	Proxy Server 4.0.5 の FTP に不正なディレクトリリストが表示されます。
6596860	プールされた FTP 接続がリセットパケットを受信したら、Proxy Server は正しい応答を返すべきです。
6599212	無効な接続のための FTP 接続プールを監視する専用のスレッドが追加されます。
6600193	Proxy-Agent ヘッダーが動作しません。
6602044	ページを何度も再読み込みする間に、不正な FTP 応答が発生します。
6602049	ファイルアイコンやフォルダアイコンなどの <code>internal</code> オブジェクトに対する FTP 要求の処理を改善する必要があります。
6604108	無効な応答ヘッダーの処理中に、不正な応答が発生します。
6605322	キャッシュエントリを高速で削除するために、インプロセスクリーニング機能が提供されます。
6613934	ダイジェスト認証で、ユーザーが繰り返し認証を求められます。
6619592	削除したインスタンスに対して <code>httpacl</code> とエイリアスのディレクトリが存在します。
6620274	Proxy Server 4.0.6 では、親ディレクトリが存在しない場合、新しいキャッシュの作業用ディレクトリを作成できません。
6621398	Proxy Server 4.0.6 では、FTP サーバーのバックエンドにマップを転送しようとする、FTP サーバーが機能しなくなります。
6622805	Proxy Server 4.0 は、特定の FTP URL にアクセスしている間に応答なくなり、タイムアウトになります。
6622813	Proxy Server 4.0 は、キャッシュサイズが大きい場合、起動に非常に時間がかかります。
6628381	キャッシュが無効にされたプロキシインスタンスはきれいに削除できません。
6634127	メモリーが破損するとサーバーがクラッシュします。
6635864	管理インタフェースの「Manage Certificates」画面が正しく表示されません。

表 18 iPlanet Web Proxy Server 4.0.7 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6639455	停止または再起動時に、プロキシサーバーが応答しません。
6641201	Proxy-Authenticate ヘッダーが転送プロキシ内でエンドクライアントに正しく渡されません。
6648470	Proxy 4.0: 「Vary:」を含む応答の処理中に、メモリー破壊が発生する可能性があります。

## 4.0.6 で修正された問題

次の表は、iPlanet Web Proxy Server 4.0.6 で修正された問題を一覧したものです。

表 19 iPlanet Web Proxy Server 4.0.6 で修正された問題

ID	概要
6224535	タイムアウト機能が動作しません。
6460215	プロキシサーバーを経由して接続する場合、IPv6 対応の Web サイトに接続できません。
6478413	プロキシサーバーインスタンスをアンインストールしても、alias および httpacl ディレクトリから、インスタンスに対応したファイルが削除されません。
6494418	content-type パラメータが設定されている場合、block-multipart-posts が要求をブロックしません。
6505578	sockd デーモンが、UDP 関連の要求を処理するときにワークスレッドを使い切ってしまうことがあります。
6513846	Proxy Server 4.0.6 のマニュアルが更新されて、HTTPS キャッシュへの参照が削除されています。
6514870	テンプレートの削除オプションでテンプレートを削除しても、そのテンプレートの割り当ての一部が削除されません。
6520593	構成の設定内で使用されるテンプレートが機能せず、手動入力した正規表現が機能する理由を説明するために、「キャッシュ構成の設定でのテンプレートに対する正規表現の優先」という新しい節が『Proxy Server 4.0.6 管理ガイド』の第 16 章に追加されました。
6526659	インストーラで、間違ったサーバー起動コマンドが表示されます。
6529376	Windows でのプロキシサーバーのデフォルトキャッシュサイズは 100M バイトですが、ヘルプページには 1.6G バイトと記されています。
6530476	起動スクリプトでの libjvm.sl ファイルへのパスが正しく設定されていません。

表 19 iPlanet Web Proxy Server 4.0.6 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6534717	アクセスログで <code>cache-status</code> が有効になっている場合、ヘッダーで <code>cache-control</code> を <code>no-cache</code> に設定した要求を行うと、キャッシュファイルが書き込まれ削除されたというログが、アクセスログに繰り返し表示されます。
6537346	キャッシュファイルが作成されていない場合でも、ログエントリで、キャッシュステータスが書き込み済みと表示されます。
6538613	プロキシインスタンスのキャッシュディレクトリが変更された場合、 <code>cachegc</code> がコアダンプします。
6541327	<code>cachegc</code> が間違っ動作する場合があります。
6545753	プロキシサーバーが無効な要求行を検出した場合、紛らわしいエラーメッセージがエラーログに表示されます。
6546256	Windows で正規表現が <code>obj.conf</code> に正しく登録されません。
6546720	DNS キャッシュを有効にしている場合、特定のサイトに接続できません。
6547808	Windows でサービスマネージャーによりプロキシインスタンスを停止した場合に <code>watchdog</code> プロセスがクラッシュします。
6559837	<code>ftp</code> 要求の処理中にプロキシサーバーがクラッシュします。
6560432	『Proxy Server 4.0.6 管理ガイド』とオンラインヘルプが更新されて、ソースポート番号についての説明が追加されています。
6562122	SSL プロキシインスタンスの場合、間違っパスワード入力がエラーファイルに書き込まれません。
6562165	『Proxy Server 4.0.6 管理ガイド』が更新されて、ファイルキャッシュ機能への参照が削除されています。
6562585	『Proxy Server 4.0.6 リリースノート』が更新されて、NSPR の正しいバージョン番号が記されています。
6563262	<code>ftp</code> アクセス中に、情報がなく誤解される可能性があるエラーログメッセージが表示されます。
6564435	管理インタフェースにキャッシュセクションテーブルの詳細が正しく表示されません。
6565004	『Proxy Server 4.0.6 リリースノート』が更新されて、Proxy Server のマニュアルページへの正しいリンクが記されています。
6565021	2つのスケジュールされたローテーション間でシステム時間が変更されると、内部ログのローテーションがファイルのローテーションを2回行います。
6565436	『Proxy Server 4.0.6 管理ガイド』の第14章の「逆プロキシの設定」節にある「逆プロキシ設定での順プロキシ機能の無効化」項が更新されて、逆プロキシサーバー構成でセキュリティー上の脆弱性を防止する方法に関する情報が追加されています。

表 19 iPlanet Web Proxy Server 4.0.6 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6566246	エラーログ表示機能でのクロスサイトスクリプティング脆弱性。
6566309	URL データベース表示機能でのクロスサイトスクリプティング脆弱性。
6566352	プロキシサーバーを経由して IPv6 FTP サーバーに接続できません。
6566822	HTTP ヘッダーの値が非常に長い場合、プロキシサーバーでメモリー内容の破壊が生じることがあります。
6566836	flexanlg がコアダンプします。
6566889	「Configure System Preferences」 ページでプロセスの値を設定したあと、値を null に戻せません。
6566924	ヘルプページが更新されて、「Configure System Preferences」 ページのプロセスについてよりわかりやすく説明されています。
6568534	Proxy Server 3.6 のマニュアルの問題への参照が『Proxy Server 4.0.6 リリースノート』から削除されました。
6569516	Proxy Server が、ヘッダー名に空白が含まれていても応答を受け入れ、転送します。
6572128	ローカライズされたオンラインヘルプが更新され、関連した内容のヘルプページが正しく表示されるようになりました。
6572138	特定の接続に関連する情報がアクセスログに含まれません。
6574401	Proxy Server でサポートされるブラウザの範囲が広がり、Internet Explorer (IE) v7 も含まれています。
6576044	『Proxy Server 4.0.6 Configuration File Reference』が更新されて、新しく追加された SOCKS 構成パラメータ SOCKS5_UDPASSOC_TIMEOUT について説明されています。
6576050	Proxy Server 4.0.6 オンラインヘルプが更新されて、HTTP クライアントの再試行機能の効果について説明されています。
6576065	Sun のスタイルガイドラインとプロキシサーバーの製品ユーザーインタフェースに一致するように、Proxy Server 4.0.6 オンラインヘルプが更新されています。
6577128	Sun Crypto Accelerator 6000 のために拡張されるプロキシサーバーのサポート。
6578024	LDAP 接続障害エラー。
6578560	アップグレード後にプロキシサーバーが表示する、管理サーバーへのアクセス方法を示したメッセージで、サーバー名とポート名が null と示されます (http://null:null)。
6579049	プロキシサーバーが間違ったパーティションを作成するため、起動時にエラーが発生します。
6579781	virt-map 指令で host-regex 引数が空の場合、プロキシサーバーがクラッシュします。

表 19 iPlanet Web Proxy Server 4.0.6 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6581350	プロキシサーバーのインストールにデバッグ JDK バイナリが含まれています。
6584989	ブラウザが IE7 の場合、「Version」ウィンドウで「閉じる」ボタンの中央にラベルが配置されません。
6594191	ローカライズされたオンラインヘルプは Proxy Server 4.0.6 に統合する必要があります。

## 4.0.5 で修正された問題

次の表は、iPlanet Web Proxy Server 4.0.5 で修正された問題を一覧したものです。

表 20 iPlanet Web Proxy Server 4.0.5 で修正された問題

ID	概要
6240773	待機ソケットを削除してサーバーを再起動しても、ポートがクリアされません。
6390867	Windows で、キャッシュされた csv ファイルの情報を表示しようとすると、cv.exe が失敗します。
6391439	管理インタフェースで DNS サブドメインの有効化オプションをクリアしても、obj.conf ファイルから DNS fn="dns-config" local-domain-levels="0" という行が削除されません。
6413536	webservd はデフォルトユーザーとして使用する必要があり、nobody には設定できません。
6463455	『Proxy Server 4.0.5 リリースノート』が更新されて、プロキシサーバーをサポートする Sun Crypto Accelerator のバージョンが説明されています。
6466910	『Proxy Server 4.0.5 管理ガイド』が更新されて、プロキシサーバーを操作するための Sun Crypto Accelerator の設定手順について説明されています。
6482102	プロキシサーバーを経由して接続したときに、特定の FTP サイトから Web ブラウザを通してファイルを取得することができません。
6500200	管理インタフェースに有効期限の切れたページが表示されません。
6500224	SOCKS ルーティングを経由する FTP が機能しません。
6500232	Proxy Server 4.0.5 のオンラインヘルプが更新されて、「Monitoring Server Status」ページに関するヘルプページにキャッシュについての説明が追加されています。
6500547	SOCKS ルーティングを経由する FTP によってファイルが損傷することがあります。
6506550	サブシステムをキャッシュするときに null ポインタアクセスが発生すると、プロキシサーバーがクラッシュすることがあります。

表 20 iPlanet Web Proxy Server 4.0.5 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6513846	『Proxy Server 4.0.5 リリースノート』が更新されて、プロキシサーバーがHTTPSのキャッシュをサポートしていないことが説明されています。
6517969	obj.conf と ACL の処理が期待どおりに動作しません。
6520629	管理インタフェースの「Configure Virtual Multihosting」ページで、host-regex にユーザーポート番号が許可されません。
6521610	管理インタフェースの「Set Cache Specifics」ページを使用してキャッシュを有効化した場合、obj.conf ファイル内の "cache-disable" 行が削除されません。
6523139	プロキシサーバーのデバッグビルドでは、ログされない情報があります(切断など)。
6524253	プロキシサーバーのウォッチドッグのコアダンプ。
6524898	キャッシュ構造が cbuild.exe によって作成されている場合、インスタンスの起動後にキャッシュ内の .sects ファイルが空になります。
6525294	ログファイル内の構文に問題がある場合、flexanlg ユーティリティはコアダンプします。
6526297	プロキシサーバーの管理インタフェースの「Manage Section」ページには、すべてのパーティションのすべてのセクションが表示され、パーティション間でセクションを移動する方法が示されます。しかし、この機能は正しく動作しません。
6526354	新しいパーティションを追加するとセクションが1つ作成されます。
6526964	SOCKS v5 サーバーによってセッションが予期せず切断されます。
6526990	Proxy Server 4.0.4 オンラインヘルプのローカライズ版のリンクが正しく機能していません。
6527840	管理インタフェースを使用してSOCKSサーバーをシャットダウンすると、起動時に表示されるのとは異なるメッセージが表示されるようになります。
6528069	プロキシサーバーで使用可能なキャッシュパーティションの最大数は32ですが、Proxy Server 4.0.3 では32個のパーティションを作成できません。
6529305	仮想マルチホストを使用するときに、ホストを大文字で指定すると機能しません。
6534208	4.0.5 リリースでは、バージョンの文字列を変更する必要があります。
6537410	プロキシサーバーは、Webサーバーが接続を閉じるまで、新しいhttp要求の受信を待機することがあります。
6537736	プロキシサーバーには、ドメインバッファオーバーフローによる脆弱性があります。この問題は、sockd デーモン内でドメイン名のアドレスタイプを処理する場合に明確に現れます。
6537745	プロキシサーバーには、ドメインバッファオーバーフローによる脆弱性があります。この問題は、sockd デーモン内の s5auth_userpass() 関数で明確に現れます。

表 20 iPlanet Web Proxy Server 4.0.5 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6538060	プロキシ管理サーバーの <code>startsvr</code> および <code>stopsvr</code> スクリプトが、 <code>proxy-admserv405</code> ではなく <code>proxy-admserv404</code> を参照します。
6538173	HP-UX では、プロキシインスタンスに待機ソケットを追加しようとすると、管理サーバーにエラーページが表示されます。
6539318	Linux では、ユーティリティー <code>cbuild</code> が機能しません。
6539689	Linux では、グループ ID 80 がすでに存在しているとプロキシサーバーのインストールが動作せず、インストールが失敗しても正しいインストールログが作成されません。
6544263	Proxy Server 4.0.5 オンラインヘルプの英語版が変更されたら、ローカライズ版も更新する必要があります。
6545267	『Proxy Server 4.0.5 Configuration File Reference』のログパラメータに関する情報が更新されています。

## 4.0.4 で修正された問題

次の表は、iPlanet Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題を一覧したものです。

表 21 iPlanet Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題

ID	概要
4973509	Cache-Control 指令が <code>private=list</code> あるいは <code>no-cache=list</code> の場合、複数の値に対してはサポートされていません。
4973523	HEAD 要求はキャッシュされません。
4973652	プロキシサーバーは、65536 バイトの長さの URI をサポートしません。
4999184	プロキシサーバーが Web サーバーをポイントする逆プロキシモードで構成されている場合、Web サーバーがダウンした場合に表示されるエラーメッセージにプロキシサーバーを利用していることが表示されるべきではありません。
5093104	プロキシサーバーの管理インタフェースでは、クライアント IP 転送で HTTP ヘッダーのあとに空白を入れることができます。
6208895	プロキシサーバーを経由して Microsoft IIS FTP サーバーに送信される FTP 要求が機能しません。
6214329	「HTTP4352: zlib internal error」がエラーログとしてエラーに記録されています。
6233086	マルチバイトのユーザー名でクライアント資格を送信する場合、有効性チェックを追加する必要があります。
6243358	削除されたユーザーがグループの一部として表示され続けます。

表 21 iPlanet Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6245972	「Administer Access Control」 ページで設定したユーザー権限が機能しません。
6246562	クラスタを使って別のロケールおよびプラットフォームにインストールされた一連のサーバーの停止に失敗します。
6253844	「zh-cn」ロケールではプロキシサーバーのオンラインヘルプが英語で表示されません。
6255761	インストーラのヘルプページにコンテンツがありません。
6255838	SOCKS サーバーを停止せずにプロキシサーバーインスタンスを削除し、新しいインスタンスを作成すると、ポートが使用中であるため、新しいインスタンスでSOCKSサーバーを起動できません。
6256442	インストーラは、英語で「Password should be at least 8 characters」というエラーメッセージを表示します。
6266497	管理インタフェースは、重複したポート番号の使用を「Add Server」 ページで許可してしまいます。
6268356	Windows で、system32 ディレクトリに libnspr4.dll が存在しない場合に SNMP サービスが動作しません。
6274424	Windows で状態ファイルの defaultInstallDirectory の値が間違っています。インストーラでのデフォルトインストールディレクトリは c:\sun\ProxyServer40 ですが、setup --savestate コマンドを使用して生成された状態ファイルに c:\sun\ProxyServer40 がデフォルトインストールディレクトリとして存在しません。状態ファイルはデフォルトインストールディレクトリとして UNIX テンプレート値を表示します。
6304981	Linux マシンに ksh がインストールされていない場合、プロキシサーバーのインストールが失敗します。
6310283	プロキシサーバーの管理インタフェースでは、タブに間違ったページコンテンツが表示されることがあります。
6312087	ローカライズされたオンラインヘルプは、関連した内容を表示しません。
6313904	管理サーバーは、別の IP アドレスで使用されているポート番号での待機ソケットの設定を許可しません。
6321797	『Proxy Server 4.0.3 Configuration File Reference』は、flex-init パラメータ no-format-str.access の情報により更新されています。
6331035	負荷分散機能は、正規表現でのみ機能します。
6333355	ACL キャッシュが有効になっている場合、ACL のユーザーおよびグループの定義は LDAP エントリの場合と正確に一致した ACL キャッシュをする必要があります。
6337657	分散管理の構成を試行すると、プロキシサーバーは内部サーバーエラーメッセージを表示します。

表 21 iPlanet Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6369549	JavaES 5 にプロキシのパッチをインストールすると、Linux にエラーが発生します。
6371618	「Compression Level」を「なし」に変更できません。マニュアルに、圧縮レベルとして何を選択するか記述する必要があります。
6380736	「Set GC Preferences」ページで「Explicit GC」を選択した場合、「Schedule GC」ページが表示されません。
6382393	プロキシサーバーは FTP のアップロードを実行できません。
6382692	移行中、3.6 obj.conf 内の書式文字列 Req->vars.pauth-user は Req->vars.auth-user に変更されるべきです。
6383320	コンテンツファイル名に空白文字または日本語の文字が含まれる場合、キャッシュファイルを削除できません。
6383435	sockd プロセスは、Linux で大量のメモリーを使用します。
6387166	プロキシサーバーの管理インタフェースの「View Server Settings」ページで、MaxProcs 値が表示されません。
6388818	SOCKS サーバーでは、ディレクトリサービス ID をデフォルトにする必要があります。
6390034	libnspr4.dll は、system32 ディレクトリではなく、<install-dir>\bin\proxy\bin ディレクトリで最初に参照されるべきです。
6390054	管理インタフェースのバージョンウィンドウで著作権の年を変更する必要があります。
6399395	「Select Directory Service」ページがディレクトリサービスの選択肢を反映しません。
6402589	http-client-config 機能は、より一層具体的なオブジェクトの設定を適用しません。
6411505	管理インタフェースの「Redirect URL」ページが予想通りに機能しません。
6412129	Proxy Server 3.6 インスタンスに fn="block-ip" という設定が見つからない場合、Proxy Server 4.0 移行ツールがその行を追加する必要があります。
6414355	Linux でコマンド batchupdate を無効な bu.conf ファイルで実行すると、セグメンテーションのエラーを引き起こします。
6415125	コンパイラを Sun Studio 8 から Sun Studio 10 に変更します。
6416272	サーバーユーザーの変更後、プロキシサーバーが正しく起動しません。
6417755	「Previous」、「Main」、「Next」などのリンクがプロキシサーバーのオンラインヘルプでローカライズされていません。
6419925	プロキシサーバーで、さらに多くのキャッシュ関連の統計情報が必要です。
6423487	オンラインヘルプに DNS 統計を有効にする方法についての詳細が追加されました。

表 21 iPlanet Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6425025	url-prefix パラメータが明示的に指定されていないかぎり、指令 host-map が機能しません。
6425026	プロキシサーバーは Accept-Encoding ヘッダーに基づいてキャッシュオブジェクトを識別する必要があります。
6425038	プロキシサーバーは、cache-local の値を 1 に設定して逆プロキシとして動作している間は query-maxlen を考慮しません。
6425601	特定の状況で、自動ガベージコレクションが機能しません。
6425752	キャッシュからの 304 応答でヘッダーが重複しています。
6426543	キャッシュの反復子の処理でメモリーリークが発生しています。
6427137	プロキシサーバーは応答でマイクロバージョン番号を送信します。
6433285	プロキシのコアエラーメッセージの一部がローカライズされません。
6433776	コマンド cbuild の実行時、.sects ファイルが作成されません。
6433807	Windows で、プロキシサーバーと管理サーバーがスタートアップメッセージに誤ったバージョン番号を表示します。
6434137	プロキシサーバーがタイムアウト時に誤ったエラーメッセージを表示します。
6435491	『Proxy Server 4.0.4 Configuration File Reference』の第 5 章のサービスの派生についての節で、type パラメータへの参照が削除されています。
6441601	『Proxy Server 4.0.4 管理ガイド』の第 5 章に、証明書発行局のルート鍵または自己署名アプリケーションをロードする必要性を説明するために注記が追加されています。
6442054	『Proxy Server 4.0.4 管理ガイド』の第 5 章「SSL を使用した LDAP との通信」節で、LDAP ルート CA 証明書のプロキシサーバーへのインポートについての情報が更新されています。
6442071	『Proxy Server 4.0.4 管理ガイド』の第 5 章に、管理サーバーへのアクセスのセキュリティ保護について説明する新しい節が追加されています。
6442090	『Proxy Server 4.0.4 Installation and Migration Guide』で、次のことを明らかにするために説明が追加されています。 - Proxy Server は root 以外のユーザーとしてインストールできます。 - Proxy Server は root 以外のユーザーとして実行できます。
6442091	キャッシュは、期間に必要な遅延を追加して current_age の値を正しく計算できる必要があります。
6442641	Proxy Server 4.0 が、コンテンツ長を指定する CONNECT 要求で正常に動作しません。

表 21 iPlanet Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6443160	HP-UX では、zlib ライブラリが JavaES 5 向けの製品とともにパッケージされる必要があります。
6443720	アクセスログファイルにログ情報が含まれていない場合は、Log Analyzer に問題がある可能性があります。
6443731	Windows 2000 SP4 で JavaES 環境での設定後、システムを再起動する必要があります。
6444332	HP-UX で batchupdate を無効な bu.conf で実行すると、セグメント例外を引き起こします。
6444363	HP-UX で、ルートユーザー以外ではプロキシインスタンスは作成されません。
6444942	存在しないインスタンス上でコマンド cachegc を実行すると失敗します。
6445440	エラーメッセージのローカライズが不完全です。
6446098	HP-UX で「View URL Database」ページに内部エラーがあります。
6446349	HP-UX での負荷テストの結果、mmap() 障害が発生しました。
6446933	『Proxy Server 4.0.4 Configuration File Reference』で、docs ディレクトリへの参照が削除されています。
6447423	Proxy Server 4.0 で、デーモンの構造が正しく開放されないためにメモリーリークが発生しています。
6447427	Proxy Server 4.0 で、共通クライアントのチャネルの取得中にメモリーリークが発生しています。
6447476	プロキシサーバー管理インタフェースで、キャッシュパーティションのサイズが常に 0 と表示されます。
6450886	socks5.conf パラメータ SOCKS5_TIMEOUT の新しい最大値である 360 分が『Proxy Server 4.0.4 Configuration File Reference』に記載されています。
6454032	Address 指令が設定されるたびに、プロキシサーバーが同じポートにバインドされません。
6455411	Windows で、プロキシサーバーが JavaES 4 と JavaES 5 の共存をサポートする必要があります。
6459839	キャッシュを使用不可にして Proxy Server 3.6 を 4.0.3 に移行すると、使用できないサーバーインスタンスが発生します。
6461889	変換されたデータが HTML フィルタによって破壊されました。
6461896	HTML タグフィルタがソースドキュメントを変換した際に、コンテンツ長を更新していません。
6461991	proxyResources.properties ファイルの英語ソースに文字の間違いがあります。

表 21 iPlanet Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6462366	HP-UX で SOCKS ネームサーバーの設定後、プロキシサーバーの再起動が失敗しました。
6463404	あるユーザーがすべてのプログラムへのアクセスを許可された場合、分散管理が正しく機能しません。
6463927	テンプレートファイル WPSProp.properties に Windows プラットフォームのエントリが含まれます。
6465608	Windows でプロキシサーバーのインストール時に、管理サーバー用に「Stop Admin Server」のショートカットが作成されません。
6465984	ファイル proxyResources.properties に重複したキーが含まれています。
6466452	プロキシサーバーが、インストーラレジストリキーを Entsys から Entsys5 に更新する必要があります。
6467644	Windows Server 2003 Enterprise プラットフォームで、reconfig.bat の実行が失敗しました。
6470294	Windows で、キャッシュのセクションを減らすために cbuid.exe を実行しても、セクションが正しく削除されません。
6473677	JavaES 4 システムでパッチ 120981-08/120982-08 を適用後、プロキシサーバーが起動しません。
6478407	『Proxy Server 4.0.4 管理ガイド』の第 7 章「SSL が有効なサーバーの起動」節で、起動スクリプトの修正を促す提案が削除されています。
6480637	プロキシサーバーが 1 時間置きにクラッシュします。
6484781	分散管理を有効にしたあと、認証されていないユーザーまで管理サーバーにログイン可能になります。
6485988	『Proxy Server 4.0.4 Configuration File Reference』の第 5 章の送信エラーについての節が更新されて、Web Server の HTTP レスポンスには送信エラーは影響しないという注記が追加されています。
6505480	HP-UX でのプロキシサーバーのスタンドアロンインストールで、HP-UX 11.11 でのインストールが失敗します。
6519072	Proxy Server 4.0.4 のスタンドアロンインストール用のインストーラには、2007 年の US DST の変更に対応する JRE バージョンが組み込まれている必要があります。対応する JRE バージョンは、Solaris、Windows、および Linux の場合は 1.4.2_13 です。HP-UX の場合は JRE バージョン 1.4.2.12 です。
6519113	『Proxy Server 4.0.4 Configuration File Reference』の第 5 章のエラーについての節が更新されて、エラー応答コード 404 および 500 への参照が削除されています。
6511549	HP-UX でのプロキシサーバーのスタンドアロンインストールで、CLI モードでインストールが失敗します。

表 21 iPlanet Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6520577	『Proxy Server 4.0.4 管理ガイド』の仮想マルチホスティングについての節が更新されて、まずリバースマッピングを指定してからその他のマッピングを指定すべきであるという注記が追加されています。

## 4.0.3 で修正された問題

次の表は、iPlanet Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題を一覧したものです。

表 22 iPlanet Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題

ID	概要
6191615	起動時に特定の正規表現を URL フィルタとして使用すると、Proxy Server がクラッシュします。
6213012	Windows 上の ROTATELOGS イベントは、指定された時間に起動されません。
6213726	転送時間レポートが、常に「0.00 sec/req」という値を報告します。
6215659	転送時間配布レポートが、常に「<1 sec [100.0%]」という値を示します。
6239292	アクセスログファイルにログ情報がない場合の、Extended2 形式の Log Analyzer エラー。
6242032	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第7章の「システムの詳細設定」節での Parent Array の説明が間違っています。正しい説明は、「親配列とは、プロキシまたはプロキシ配列メンバーがルーティングに使用するプロキシ配列のことです」。
6264079	管理インタフェースがディレクトリサービスのデフォルト値である default を上書きします。
6275141	Proxy Server 4.0.2 でファイルキャッシュ機能は GUI に表示され、「Server Manager」>「Caching」>「Configure File Cache」ページに説明がありますが、この機能は実装されていません。
6270693	Filter 指令が要求ごとに2回呼び出されることがあります。
6285076	両方のメソッドが構成されている場合、SOCKS サーバーがユーザー認証に両方の LDAP & パスワードファイルを処理できません。
6285183	Windows で PR_MemUnmap() 呼び出しによってエラーが発生します。
6285791	JavaES 4 の SOCKS サーバーの start コマンド行の問題はこのリリースで修正されましたが、JavaES 4 インストールで作成された既存のインスタンスでは、最新の 4.0.3 バッチにアップグレードしたあとも問題が残ります。アップグレード後に作成された新しいインスタンスにはこの問題はありません。この問題は、Proxy Server のスタンドアロンインストールでは発生しません。

表 22 iPlanet Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6289188	root以外のユーザーとして Proxy Server 4.0 をインストールし、rootユーザーとして管理サーバーをインストールした場合、管理ユーザーインタフェースでキャッシュ設定を変更すると、キャッシュファイルおよびキャッシュディレクトリのアクセス権がroot以外からrootに変更されます。
6292729	「Client IP Addressing Forwarding」のデフォルト設定は「ブロック」にします。
6294282	Proxy Server 4.0の管理インタフェースで、パターンに「\」を含むリソースのACLを正しく設定できません。
6294563	アクセスログ形式のデフォルト設定はWeb Serverとは異なります。
6295286	『Proxy Server 4.0.2管理ガイド』の第14章の「逆プロキシの設定」節では、手順5で、「\」マッピングは管理GUIが自動的に表示する「Map Source Prefix:」テキストボックスの内容をユーザーが変更しない場合にのみ追加されることに注意を促す必要があります。
6296870	管理インタフェースにキャッシュセクションテーブルの詳細が正しく表示されません。
6299913	Proxy 3.6から4.0への移行中にConnAddress指令がAddressに変わりません。
6300480	Proxy 3.6から4.0への移行中に「キャッシュ」タブの設定が正常に移行されません。
6300615	ローカライズされたコアメッセージにメタタグがありません。
6301140	キャッシュが無効になっているプロキシのインスタンスの移行時に、移行によって無効なキャッシュエントリが作成されます。
6303619	default以外の名前に登録されているデータベースでACLが正しく機能しません。
6304354	「Do Not Log Client Accesses From」オプションが反映されない構成が作成されます。
6311548	Proxy Server 4.0はアクセスログにauth-userの代わりにpauth-userを使用します。
6312044	Proxy Server 4.0の管理インタフェースでは、「Monitor Current Activity」ページの「Server Status」タブは「DNS」、「Keep-Alive」、「Cache Statistics」では更新されません。
6313910	Windowsでは、ヘッダー名の書き換え機能に失敗し、「Internal server error occurred」というメッセージが表示されます。
6313959	『Proxy Server 4.0.2管理ガイド』の第12章の「ファイルキャッシュを設定するには」節の手順1の説明が間違っています。正しい説明は、「Server Managerから、「キャッシュ」タブをクリックします」です。
6313960	『Proxy Server 4.0.2管理ガイド』の第12章の「バッチ更新を作成するには」節には、「タイミングセクション」を参照する手順10があります。この手順は誤っています。「Set Cache Batch Updates」ページには「タイミングセクション」がありません。

表 22 iPlanet Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6316289	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 12 章の「キャッシュのディレクトリ構造の構築」節には、図 12-2 ではなく、図 12-1 を参照する例が掲載されています。
6325537	管理インタフェースで RqThrottle 値を変更できません。
6325616	定期的な (明示的な) ガベージコレクションでキャッシュがクリアされません。
6328678	管理インタフェースから、ICP timeout 値を 400 ミリ秒未満に設定できません。
6331044	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』のまえがきで、「マニュアルの使用」節に、Proxy Server 4 のマニュアルの場所を指定しています。 <a href="http://docs.sun.com/app/docs/prod/s1.webproxys#hic">http://docs.sun.com/app/docs/prod/s1.webproxys#hic</a> この節では、次の場所の Proxy Server 4.0.2 のマニュアルを指すべきです。 <a href="http://docs.sun.com/app/docs/coll/1311.2">http://docs.sun.com/app/docs/coll/1311.2</a>
6334854	Proxy Server のマニュアルと sun-web-proxy-server_4_0.dtd の不一致。
6337102	Proxy Server が DNS fn = "dns-config" local-domain-levels = "8" でクラッシュします。
6338719	Proxy Server のパッチアップグレードが Linux AS 3.0 上で異なる場所にインストールされます。
6338875	Proxy 4.0.1 FTP クライアントがシンボリックリンクを正しく処理できません。
6350957	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 5 章の「待機ソケットのセキュリティの有効化」節では、セキュリティは逆プロキシモードでのみ有効にすることができ、順プロキシモードでは有効にできないことが述べられていません。 また、第 8 章の「ユーザーとグループの指定」節では、セキュリティは逆プロキシモードでのみ有効にすることができ、順プロキシモードでは有効にできないことが述べられていません。
6365433	Proxy Server の管理インタフェースで自動開始オプションが選択されている場合、Proxy Server インスタンスを作成できません。
6367375	親プロキシがある場合、CONNECT とのマッピングが機能しません。
6369095	Proxy Server 4.0 でのメモリーリーク。
6371084	Web サーバーの IP アドレスを使用している場合、連鎖プロキシ環境で SSL サイトの要求が機能しません。
6371618	「Compression Level」を「なし」に変更できません。
6371731	"connect://.*:563" がデフォルトリソースにありません。
6371793	pkginfo は SUNWproxy-l10n の \$distro を表示します。
6373101	管理サーバーが ssl-client-config に対して無効なパラメータを作成します。

表 22 iPlanet Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6373622	cache-disable SAF が説明されていません。
6374279	WebDAV OPTIONS メソッドへの応答が RFC2518 に準拠していません。
6376065	max-uncheck 関数が予想通りに機能しません。
6376153	Proxy Server 4.0.2 は、ftp/gopher プロトコルのキャッシュを更新しません。
6381373	キャッシュがすでに温まっている場合、再起動後の実行中に Proxy Server がクラッシュします。
6381419	Cache-last-checked ヘッダーの値が無効です。
6381424	警告ヘッダーはホストを含んでいるべきです。エージェントのポート値がこのヘッダーを追加します。
6382729	Proxy Server は utf-8 エンコードパラメータを受け入れません。
6383301	Proxy Server 4.0 はチャネルプールに問題があります。
6383456	Proxy Server 4.0.2 は、Linux で高い CPU 使用率を示します。
6384616	Proxy Server 4.0.3 のオンラインヘルプに文字の間違いがあります。
6385902	アクセスログ設定の設定の形式はデフォルト形式と一致しません。
6387772	バグ (6325537、6303619) が修正されたため OLH の変更をローカライズする必要があります。
6387901	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 11 章の「Proxy Server の連鎖」節は明確ではありません。
6388156	キャッシュファイルのヘッダーが壊れる可能性があります。
6390237	応答にコンテンツの 2 倍の長さのヘッダーが含まれている場合、プロキシは間違ったコンテンツの長さを渡します。
6392875	regexp-map が接続のために機能しません。
6393573	DNS fn="dns-config" local-domain-levels="1" の場合、Proxy 4.0.2 がクラッシュします。
6394287	SOCKS プロセスが頻繁にポーリングしすぎるため、sockd プロセスが CPU の約 50% を使用しています。
6395473	「遅い」クライアントを処理しているときの、Proxy Server 4.0 での高い CPU 使用率の問題。
6395889	Proxy Server 4.0.2 を使用している場合に、Windows Server Update Service (WSUS) が機能しません。
6400981	socks5.conf で設定されている SOCKS5_TIMEOUT 値が無視されます。

表 22 iPlanet Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6402698	FTP クライアントでの高度な CPU の使用。
6418214	Proxy Server 4.0 のガベージコレクション機能に関する問題。
6424527	cache-control ヘッダーのエントリが空のリクエストでは、処理中に Proxy Server がクラッシュします。

## 4.0.2 で修正された問題

次の表は、iPlanet Web Proxy Server 4.0.2 で修正された問題を一覧したものです。

表 23 iPlanet Web Proxy Server 4.0.2 で修正された問題

ID	概要
5097664	ssl-tunnel-timeout パラメータが Windows で機能しません。
6225025	ftp-listing-width パラメータが正しく機能しません。
6251805	アーカイブのログを変更するとクラッシュします。
6262277	ICP のタイムアウトの最小値を 400 から 50 に変更します。
6292690	Proxy Server 4 で、IE 6.0 を使用して管理インタフェースにアクセスしているときに、「Manage Sections」>「Partition」を使用して元のパーティションを選択できません。
6292786	Proxy Server で、転送時間やその他の時間がアクセスログに書き込まれません。
6308714	umask が 022 に設定されていない場合は、Proxy Server の起動に失敗します。
6310909	Proxy Server 4.0.1 ポイント製品で、製品名のバージョン文字列がフランス語ロケールで 2005Q3 から 2005T3 に誤って訳されています。
6310910	Proxy Server 4.0.1 ポイント製品で、フランス語ロケールのインストーラメッセージ中のアポストロフィーが多数欠落しています。
6310944	Proxy Server 4.0.1 ポイント製品で、CLI インストーラがライセンスを表示しません。
6310961	Proxy Server 4.0.1 ポイント製品で、スペイン語ロケールのライセンスインストーラ画面の「Yes」がローカライズされていません。
6312723	Proxy Server 4.0 を使用しているときに、IP アドレスで SSL サイトにアクセスできません。
6313981	Proxy Server 4 で、管理インタフェースを使用して新しい逆マッピングを作成したあとで「Rewrite Content Location」および「Rewrite Headername」の値を変更できません。
6315817	複数の同時 CONNECT (SSL トンネリング) 要求によって、スレッドが不足します。

表 23 iPlanet Web Proxy Server 4.0.2 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6330348	負荷実行時に Solaris 10 のプロキシプロセスによってメモリーが大量に使用されま す。
6333995	CONNECT の負荷テストの実行時にメモリーリークが発生します。
6335919	FTP サーバーが閉じていると、Proxy Server の FTP クライアントの接続が閉じませ ん。
6335922	Proxy Server の FTP クライアントが USER 要求を FTP サーバーに送信しません。
6336550	Proxy Server 4.0 インストールを含むディレクトリに Proxy Server 4.0.1 をインストール しようとするエラーが発生します。

## 4.0.1 で修正された問題

次の表は、iPlanet Web Proxy Server 4.0.1 で修正された問題を一覧したものです。

表 24 iPlanet Web Proxy Server 4.0.1 で修正された問題

ID	概要
2126143	同じ正規表現がアクセス制御とルーティングでは機能しますが、URL フィルタでは 機能しません。
2126380	プロキシサーバーの ICP プロセスのメモリーリーク。
6231283	Linux Red Hat Advanced Server 3.0 上の管理サーバーが起動に失敗します。
6237346	flexanlg ユーティリティーが、Extended2 ログファイル形式でのログ分析レポートの 生成時に、コアダンプを出力します。
6240767	管理サーバーおよびプロキシサーバーインスタンスの追加/編集待機ソケットが、使 用されているポートを確認しません。
6242627	ローカライズされたコアメッセージが表示されません。
6243369	SOCKS に関連するページでマルチバイト文字のエントリは避ける必要があります。
6244103	Linux Advanced Server 3.0 韓国語ロケールでプロキシサーバーインスタンスの「Set Connectivity Mode」ページにアクセスすると、内部サーバーエラーが表示されます。
6245408	管理者ユーザーとプロキシインスタンスユーザーが異なる場合に、新しく追加した パーティションにアクセスすると、内部エラーが表示されます。
6249166	プロキシサーバーへのアクセス時に、URL のホスト名が localhost に置換される と、「Cluster」タブの「Control Cluster」、「Modify Server」、「Remove Server」ページの表示が一致しません。

表 24 iPlanet Web Proxy Server 4.0.1 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6253014	Linux Red Hat Advanced Server 3.0 上の <code>obj.conf</code> ファイルに、9つを超える <code>NameTrans</code> ディレクティブが存在すると、 <code>init-proxySAF</code> でクラッシュが発生します。
6254508	セグメンテーションのエラーによって、バッチの更新コマンドが終了します。
6255214	マルチバイト文字から構成されるコンテンツ URL 書き換えページのエントリを編集または削除できません。
6255216	<code>socks5.conf</code> 内の特定の LDAP エントリによって、 <code>socksd</code> クラッシュが発生します。
6259314	ローカライズされた一部のオンラインヘルプページが英語のオンラインヘルプページと同期化されていません。
6261440	インストールディレクトリに、重複した英語オンラインヘルプが存在します。
6263694	「Add and Replace Compromised Key List」ページおよび「Add and Replace Certificate Revocation List」ページでオンラインヘルプが利用できません。
6263721	Server Manager の「Add/Replace Cert」ページについて誤ったヘルプページが表示されます。
6274186	サーバーインスタンスを削除できません。
6276398	基本ワークスペースからローカライズされたオンラインヘルプを削除します。
6285078	SOCKS 要求の認証の失敗のエントリがログファイルに記録されません。
6285779	<code>serverID</code> にスペースが含まれる場合に、プロキシサーバーインスタンスが起動できません。
6285788	認証を使用している場合に、SOCKS サーバーがクラッシュします。
6289242	Proxy Server 4 での HTTP スマグリング。
6293449	Proxy Server 4 が <code>CONNECT</code> メソッドでただちに接続を閉じません。
6295622	関数 <code>ConnAddress</code> は、Proxy Server 4.0 で実現されていません (説明もありません)。
6296169	ほかのロケールでインストールされた Proxy Server 4 のヘッダー <code>Cache-last-checked</code> が壊れています。
6296225	DNS キャッシュが有効にされている場合に、Proxy Server インスタンスが断続的にクラッシュすることがあります。
6301786	Solaris 9 x86、Linux AS 3.0 で、ローカライズされたコアメッセージが表示されません。
6311463	プロキシプロセスで、時間と共にオープンファイル記述子の数が増加し続け、プロキシのファイル記述子が不足し、接続がドロップします。

